

2019 入学案内

経営ネットワーク学科 システム情報学科



取得できる学位・資格

学士(経営情報学)の学位

中学校教諭1種免許状「数学」

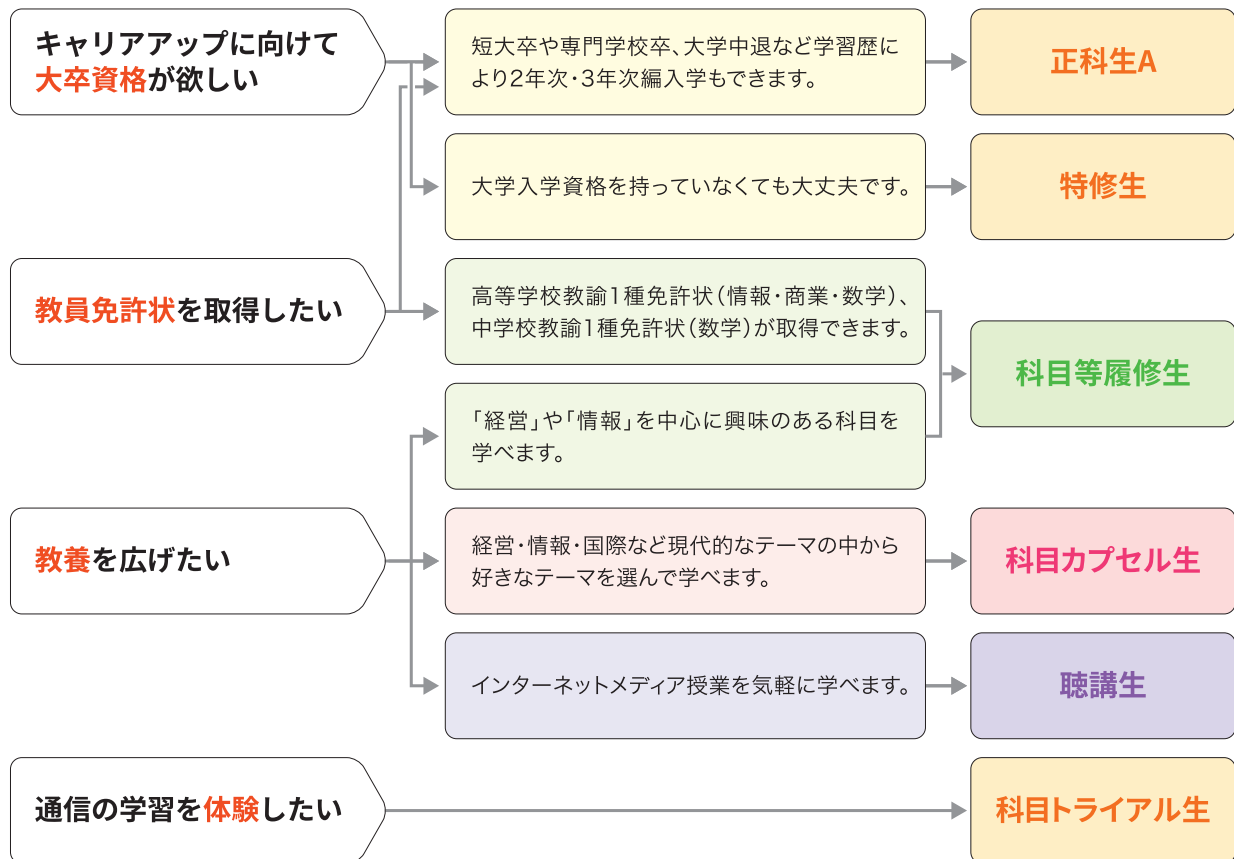
高等学校教諭1種免許状「情報・商業・数学」



北海道情報大学
通信教育部



あなたに最適な、学びのスタイルがあります。



北海道情報大学通信教育部には 9つの特徴があります

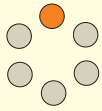
- 01 目的に合わせて入学形態が選べます
- 02 年2回の入学チャンスがあります〔春期(4月)、秋期(10月)〕
- 03 入学試験はありません〔入学資格の書類審査(確認)のみ〕
- 04 大学・短大・専門学校卒なら「3年次編入学」ができます
〔大学・短大を卒業していなくても在学年数・修得単位数に応じて2～3年次編入学が可能〕
- 05 必修科目なし、学びたい科目だけ選んで卒業できます
- 06 科目試験は「年4回」実施、全国18カ所で受験可能
(1科目あたり年間最大4回受験可能)
- 07 インターネットメディア授業の受講により
スクーリングなしで卒業が可能です
- 08 「科目トライアル生」で
通信教育をお試して体験することができます
- 09 教員免許状の取得が可能です
〔中学校(数学)・高校(情報・商業・数学)〕



入学形態一覧

入学形態		入学資格
 正科生 A	1年次入学	▶ 高等学校等を卒業した方
	2年次編入学	▶ 大学・短期大学を中退した方 (1年以上在学し、30単位以上を修得している方)
	3年次編入学	▶ 大学・短期大学・高等専門学校を卒業した方
▶ 大学を中退した方 (2年以上在学し、62単位以上を修得した方)		
 特修生	▶ 入学時に満18歳以上の方	
 科目トライアル生	▶ _____	
 科目等履修生	▶ 大学卒業者で教員免許状の取得を希望する方	
	▶ 大学入学資格のある方	
 聴講生	▶ _____	
 科目カプセル生	▶ _____	

特徴	掲載ページ
<p>大学卒業を目指す方は[正科生A]で学びます。 卒業と同時に教員免許状を取得することもできます。</p> <p>新生生の全員が1年次からスタートするのではなく、それぞれの学習歴を生かせるのも本学の特徴です。大学・短大・専門学校を卒業している方は3年次編入学の道があります。大学・短大については、卒業していなくても在学年数と修得単位数により、2年次・3年次に編入学ができます。</p>	<p>詳しくは 05ページ参照</p>
<p>大学入学資格を持たない方に、大学卒業の道を開く入学形態です。 特修生修了後、正科生Aに入学することができます。</p>	<p>詳しくは 09ページ参照</p>
<p>正科生Aに入学する前に通信教育を体験してみたい方のための入学形態です。1～2科目の体験から可能です。体験後、「これなら大丈夫」と感じた方は正科生Aへご入学ください。修得単位の一括単位認定、入学選考料の免除や、すでに受講した分の受講料を免除するといった特典があります。</p>	<p>詳しくは 10ページ参照</p>
<p>教員免許状の取得のみを目指す方、教員免許状の取得に一部単位が不足しているという方、生涯学習や再学習・教養・研修のために学びたいという方のための入学形態です。</p>	<p>詳しくは 11ページ参照</p>
<p>本学ならではのインターネットメディア授業を聴講できる入学形態で、生涯学習・教養・研修のために気軽に学べます。単位修得はできません。</p>	<p>詳しくは 13ページ参照</p>
<p>興味や関心に合わせて、PC・流通・国際など5つのテーマの講座を学びたいという方のための入学形態です。</p>	<p>詳しくは 14ページ参照</p>



正科生A

大学卒業(学位の取得)を目指せます。

正科生Aは、4年以上の期間をかけ、大学卒業に必要な124単位以上を修得することにより学士(経営情報学)の学位が授与されます。また、学習歴により2年次・3年次編入学もできます。

教職課程を選択することで「中学校教諭1種免許状(数学)」「高等学校教諭1種免許状(情報)(商業)(数学)」の取得も可能です。



	入学資格	一括認定単位数※	卒業要件
1年次入学	高等学校卒業または高等学校卒業程度認定試験(旧大検)合格など、大学入学資格を有していることが条件となります。	ありません 申請に基づき、資格認定制度(24ページ参照)・放送大学との単位互換と併せて60単位まで本学の単位として個別に認定します。	4年以上在学 124単位以上を修得 (スクーリング単位数 30単位以上を含む)
2年次編入学	大学または短期大学に1年以上在学した方で、在学中に30単位以上を修得していることが条件となります。	30単位 30単位のうち8単位までスクーリング単位として一括認定されます。	3年以上在学 94単位以上を修得 (スクーリング単位数 22単位以上を含む)
3年次編入学	大学・短期大学・高等専門学校卒業または専修学校専門課程修了が条件となります。大学に2年以上在学し、62単位以上を修得している場合にも適用されます。	62単位 62単位のうち16単位までスクーリング単位として一括認定されます。	2年以上在学 62単位以上を修得 (スクーリング単位数 14単位以上を含む)

(正科生Aの出願に関する詳細は、入学志願要項9ページをご覧ください。)

※一括認定単位数とは、入学の際に出身学科や科目に関わらず無条件で免除される単位のことで、

- ★本学入学前に本学の科目等履修生として修得した単位は、申請に基づき、20単位を上限に一括単位認定します(教職関係科目を除く)。
- ★教員免許状(教職課程)取得に必要な単位のうち、一部卒業要件に含まれない単位(教職関係科目)があります。詳細は23ページをご覧ください。
- ★大学・短期大学の通信教育課程を退学した場合は、上記の一括認定単位数を上限として、実際に修得したスクーリングの単位を認定します。
- ★インターネットメディア授業で修得した単位は、スクーリングの単位として取り扱うことができます。
なお、スクーリングで修得した場合でも、教員免許状(教職課程)取得に必要な単位のうち、一部卒業要件に含まれない単位(教職関係科目)があります。詳細は23ページをご覧ください。
- ★年間の履修登録単位数の上限は原則58単位(教職関係科目は除く)です。
- ★システム情報学科情報数理専攻では、必修28単位、選択必修6単位以上を修得する必要があります。

資格認定制度があります	国家資格や各種検定の成果により語学関連、経理関連、情報関連、医療関連の50以上の資格・検定の単位認定が可能です。 ※詳細は24ページをご覧ください。	教員免許状が取得できます	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校教諭1種免許状(数学) ●高等学校教諭1種免許状(情報) ●高等学校教諭1種免許状(商業) ●高等学校教諭1種免許状(数学) ※詳細は25ページをご覧ください。
--------------------	---	---------------------	---

4月(春期)または10月(秋期)に入学。 いずれも入学資格の書類審査のみで入学試験はありません。

本学 通信教育部は入学試験がなく、出願書類がすべてそろっていれば全員入学できます。
入学後は、各自の目的や興味に応じた科目を自由に選択し学習します。

入学から卒業までの流れ

願書提出	<p>「郵送出願」とインターネットからの「ネット出願」の2種類があります</p> <p>「ネット出願」は、いつでも、どこからでも、思い立った時に申し込めます。願書の取り寄せなどの手間もかからず、手続きも簡単です。クレジットカードやコンビニでの決済もできて大変便利です。</p>																																																	
書類審査	入学試験はなく入学資格の書類審査(確認)を行います。																																																	
入学時期	4月または10月の年2回																																																	
履修登録・教科書購入・教材配布	<p>講義概要を参考に履修科目を決めます。正科生Aは必修科目がないため、興味・関心のある科目の履修で卒業可能。インターネット上で履修登録し、教科書購入の手続きをします。教科書が届いたら学習スタートです。</p> 																																																	
授業開始	<p>印刷授業(自宅学習) …詳細は16ページをご覧ください。</p> <p>インターネットメディア授業(e-Learning) …詳細は17ページをご覧ください。</p> <p>スクーリング(面接授業) …詳細は19ページをご覧ください。</p>																																																	
科目試験	<p>科目試験は全国18カ所で受験できます</p> <p>科目試験会場は全国18カ所あり、好きな会場を選んで受けることができます。一部の科目はインターネット試験で受験します。</p> <p>科目試験スケジュール(申込から成績発表まで)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="6">前期</th> <th colspan="6">後期</th> </tr> <tr> <th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th> <th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td>① 試験申込締切</td><td>① 科目試験</td><td>① 成績発表</td><td>② 試験申込締切</td><td>② 科目試験</td><td></td><td>③ 試験申込締切</td><td>③ 科目試験</td><td>③ 成績発表</td><td>④ 試験申込締切</td><td>④ 科目試験</td><td>④ 成績発表</td> </tr> <tr> <td></td><td colspan="2">① 5月試験 スケジュール</td><td colspan="3">② 7月試験 スケジュール</td><td></td><td colspan="2">③ 11月試験 スケジュール</td><td colspan="3">④ 1月試験 スケジュール</td> </tr> </tbody> </table>	前期						後期						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		① 試験申込締切	① 科目試験	① 成績発表	② 試験申込締切	② 科目試験		③ 試験申込締切	③ 科目試験	③ 成績発表	④ 試験申込締切	④ 科目試験	④ 成績発表		① 5月試験 スケジュール		② 7月試験 スケジュール				③ 11月試験 スケジュール		④ 1月試験 スケジュール		
前期						後期																																												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																							
	① 試験申込締切	① 科目試験	① 成績発表	② 試験申込締切	② 科目試験		③ 試験申込締切	③ 科目試験	③ 成績発表	④ 試験申込締切	④ 科目試験	④ 成績発表																																						
	① 5月試験 スケジュール		② 7月試験 スケジュール				③ 11月試験 スケジュール		④ 1月試験 スケジュール																																									
単位修得	<p>科目試験は前期2回、後期2回、1科目につき年間最大4回の受験が可能です。</p> <p>単位修得のための科目試験は1科目につき年4回(5月、7月、11月、1月)実施しています。合格できなくてもすぐに次の試験日に受け直すことができます。なお、印刷授業で履修登録した科目は、科目試験とレポートの両方の合格が必要です。レポートは、科目試験当日に持参し、提出します。</p>																																																	
卒業																																																		



経営ネットワーク学科

インターネットを活用した新ビジネスで可能性を拓ける

ビジネスに即した知識やスキルが身につきます。

社会で活用できるICT教育は本学の得意とするところです。「情報リテラシー」、「コンピュータサイエンス入門」、「プログラミング基礎」、「システム設計演習」、「インターネットアプリケーション」、「ネットワークセキュリティ」、「データ通信システム」など具体的で実践的な科目を多く取り入れビジネスに役立つ力を身につけることができます。

情報に特化した大学のメリット満載です。

経営と情報を学ぶメリットは明快です。インターネットを利用すれば世界中の顧客さえも獲得できるため、その取り組みが企業発展のカギを握るとさえ言われています。この「e-ビジネス」をテーマに、本学科ではインターネットの理解と創造に取り組み、インターネットによって可能になる海外進出のための語学力の習得も目指せます。

「必修科目なし」で自由に科目選択可能

本学には必修科目がなく、自由に科目選択できます。ビジネスに重点を置いて経営系の専門科目のみを学びたい方、経営と情報をバランスよく学びたい方、それぞれ体系的に専門分野を学べるように3つの履修モデルを用意していますので、参考にしてください。なお、履修モデルにとらわれずに、たとえば英語や心理学など教養教育科目中心に学ぶといったことも可能です。

3つの履修モデル	「経営管理システムスペシャリスト」 複雑化した現代企業のリーダーには多角的視野と柔軟な判断力が必須	高度に成熟を続ける産業界にあって、企業は日々進化を迫られています。し烈な競争を勝ち抜くために、経営陣には複合的視野・発想力と、柔軟かつ瞬発的な判断力が求められます。この履修モデルは、そうした力の養成に主眼を置いています。急速な変化にも揺るがない知識とスキルを身につけられます。
	「e-ビジネススペシャリスト」 現代的経営知識とアントレプレナーシップ(起業家精神)を身につける	インターネットはマーケットを世界に広げてくれます。「時間」「空間」の制約から開放されたビジネスは既存の枠を超えた展開を可能にします。ユニークなアイデアで新型企業を成長させる若い力の台頭を見るように、経営に関する知識とアントレプレナーシップを備えた方には大きなチャンスが生まれます。
	「グローバルビジネススペシャリスト」 グローバル化時代を見据えて異文化を理解し世界のビジネスを研究	金融、流通、文化、すべてが国境を越えて行き交う現代、グローバルなセンスを身につけていなければ企業競争の最前線には立てません。この履修モデルではさらに国際化が進む近未来を予測し、コミュニケーション概論、ブランドマネジメント、経営戦略と組織、イノベーション概論などを学習します。

※履修科目は21～23ページをご覧ください。

※履修モデルとは履修科目を選択する際の「指針」となるものです。あくまでも参考のために設けていますので「履修モデル」とらわれず自由に科目を選択することができます。

理系・文系にかかわらず学べます

「情報」の名称から、理系のイメージを抱く方も多いですが、実はそうでもありません。確かに理系の科目もありますが、一方でビジネス関連の科目も充実しています。「情報」がカバーする領域はととても広いため、既存の枠組みを超えて学習することができます。



● 学科紹介

システム情報学科

ICT技術を駆使して経営を発展させるSEを目指すなら

SEに必要な知識を学べます。

コンピュータが使える当たり前となった現在、より便利で使いやすいシステムが求められるのは必然で、その要望を満たすものを発想・提案し制作できるかがシステムエンジニア(SE)の生命線になっています。これらをクリアする人材を養成するのが本学であり、産業界のニーズに直結した科目をそろえ、質の高い教育を展開しています。

ICTに加えてビジネスセンスを磨きます。

SEを目指しながらマーケティング論や簿記原理、流通概論、経営科学など経営学領域の科目を学べることも特徴です。これにより「ビジネスを理解する技術者」として、IT業界のあらゆる場面で活躍することが可能となります。ベンチャービジネスやアントレプレナーシップに関する科目もあり、学習した知識を活かした起業も視野に入れられます。

「必修科目なし」で自由に科目選択可能

本学には必修科目がなく、自由に科目選択できます。情報通信技術に特化した学びを希望する方、経営・経済を意識して学びたい方、それぞれ体系的に専門分野を学べるように4つの履修モデルを用意していますので、参考にしてください。なお、履修モデルにとらわれずに、たとえば英語や心理学など教養教育科目中心に学ぶといったことも可能です。

4つの履修モデル	「情報技術基礎」 ゼロからスタートも可能、 着実なステップアップに向けて	これから初めてパソコンに向き合う方、趣味の領域からステップアップしたいとお考えの方に適した履修モデルです。情報リテラシーの学習からスタートし、プログラムの仕組み、コンピュータの利用、プログラム設計、システム設計、データベースといった上級者レベルまで段階的に進んでいきます。
	「情報テクニカルスペシャリスト」 最新のトレンドを知り企業に最適な コンピュータ環境を提案	システムの設計・開発・運用はプロジェクトチームで行われており、その成否のカギを握るリーダーの存在は重要です。いかに企業ニーズをくみ取り快適なシステムを提供できるか、その根底には確かな理論把握が欠かせません。人材育成に実績を誇る本学では、これに対応する履修モデルを提案しています。
	「情報システム開発スペシャリスト」 企業内においてSEやデータベース エキスパートとして活躍する	大手企業では社内にシステム開発のプロジェクトチームを抱えているケースがあります。この履修モデルは、そうした場面において各部署のニーズをくみ取り、コンピュータシステムを設計するSEを育む、データベースを活用したエンジニアとして活躍できる人材を養成することを目指したものです。
	「健康情報」 医療、健康、食品と情報を 組み合わせて新ビジネスへ	本学では医療・健康・食品分野にも学習領域を広げており、関連する科目を用意しています。これらの分野と情報は、密接な関係にありながら、結びつけて分析・研究できるところはまだまだ多くありません。この履修モデルは、そうしたニーズに対応する新しい人材の育成を目指したものです。

※履修科目は21～23ページをご覧ください。

※履修モデルとは履修科目を選択する際の「指針」となるものです。あくまでも参考のために設けていますので「履修モデル」ととらわれず自由に科目を選択することができます。

理系・文系にかかわらず学べます

「情報」の名称から、理系のイメージを抱く方も多いですが、実はそうでもありません。確かに理系の科目もありますが、一方でビジネス関連の科目も充実しています。「情報」がカバーする領域はとても広いため、既存の枠組みを超えて学習することができます。

システム情報学科 情報数理専攻

正科生Aで数学(中・高または両方)の教員免許状取得を目指す方を対象とした「情報数理専攻」があります。数学教員として実践的な指導能力を身につけるため、卒業要件として必修科目が設定されています。

※システム情報学科 情報数理専攻では、必修28単位、選択必修6単位以上を修得する必要があります。

※数学の免許状は「情報数理専攻」でなくても取得できます。

「特修生」の学びについて

大学入学資格を持たない方にも 大学卒業の道が開けます。

高等学校を中退された方や、日本で認可されない海外の学校を修了した方など、大学入学資格を持たない方にも、本学は学位取得のチャンスを開けています。特修生として学習することで、正科生Aとしての入学資格が与えられます。入学試験はなく、満18歳以上であるなどの条件を満たせば入学できます。

正科生A(大卒資格取得)に ステップアップできます。

特修生として1年以上在籍し、定められた授業科目を学び、16単位以上を修得すれば、正科生Aへの入学資格が得られます。正科生Aに入学すれば大学卒業資格「学士(経営情報学)」が取得可能です。

特修生の入学から正科生A卒業までの流れ

↓ 特修生として入学	○16単位以上を修得し、修了 ○正科生Aへの入学資格を取得
↓ 正科生Aで入学	○特修生で修得した16単位を上限に認定 ○卒業要件単位(108単位以上)を修得
大学卒業	○学士(経営情報学)の学位を取得

特修生修了について ※特修生から正科生Aに入学した方は、通学課程への転籍はできません。※特修生の出願に関する詳細は、入学志願要項27ページをご覧ください。

修業年限	特修生の修業年限は1年間です。申請により最長2年まで在籍できます。
修得単位	特修生として修得した単位は、正科生A入学時に16単位を上限に認定します。
正科生A入学	正科生A入学資格は、特修生修了(16単位以上修得)後2年間有効です。
入学金の一部免除	特修生から正科生Aに入学する際、入学金は25,000円になります(通常は30,000円)。

受講可能な科目一覧

No	科目名	単位数	必要単位数	No	科目名	単位数	必要単位数
1	心理学	2	23科目中 8科目 (16単位) 以上修得	13	初級中国語	2	23科目中 8科目 (16単位) 以上修得
2	哲学	2		14	法学	2	
3	ミステリを読む	2		15	経済学入門	2	
4	物理学の基礎	2		16	情報リテラシー	2	
5	基礎生命科学	2		17	行列と連立1次方程式	2	
6	サステナビリティ学	2		18	基礎数学	2	
7	モチベーションの科学	2		19	コンピュータサイエンス入門	2	
8	情報を食べる	2		20	コンピュータアーキテクチャ	2	
9	メディア・リテラシー入門	2		21	プログラムの仕組み	2	
10	英語Ⅰ(初級英語読解)	2		22	三角関数・指数関数・対数関数	2	
11	英語Ⅱ(初級英会話)	2		23	ベクトル空間と線形写像	2	
12	英語Ⅲ(中級英語読解)	2					

「科目トライアル生」の学びについて

正科生Aでの学習を体験してみたい方にお勧めです。

仕事・家事との両立や費用的な面で不安がある方には、まず「科目トライアル生」という学習スタイルをお勧めします。20科目の中から1～2科目を選んで学ぶことができるこの制度なら大学通信教育のお試しに最適。学習後に正科生Aに引き続き入学する方には、**入学選考料免除、科目トライアル生として受講した分のインターネットメディア授業の受講料免除**などさまざまな特典もあります(詳細は別途資料をご請求のうえご確認ください)。

科目トライアル生での学習の流れ

↓	科目トライアル生で申し込み ＜開講科目の中から1～2科目を選択＞
↓	インターネットメディア授業や印刷授業で学習 (科目により授業形態が決まっています)＜約半年間＞
↓	科目試験にチャレンジ ＜最大3回受験可能＞ ＜科目試験を受けず学習のみも可能＞
↓	合格(単位取得)
特典を使って正科生Aに入学できます	

開講科目一覧 下の科目の中から1科目または2科目を選びます。

No	科目名	授業形態
1	英語Ⅱ(初級英会話)	IM授業
2	ヘルスリテラシー入門	IM授業
3	情報リテラシー	IM授業
4	基礎数学	IM授業
5	医学医療	IM授業
6	経営者と意思決定	IM授業
7	情報システム学概論Ⅰ	IM授業
8	宇宙への挑戦	IM授業
9	マーケティング論	IM授業
10	デジタル画像概論	IM授業

No	科目名	授業形態
11	プログラム言語Ⅰ	IM授業
12	データベースシステム	IM授業
13	コンピュータアーキテクチャ	IM授業
14	オペレーティングシステム基礎論	IM授業
15	財務会計学基礎編	IM授業
16	モチベーションの科学	印刷授業
17	情報を食べる	印刷授業
18	経営の基礎	印刷授業
19	イノベーション概論	印刷授業
20	三角関数・指数関数・対数関数	印刷授業

(IM授業)…インターネットメディア授業

※出願の時期により、受講できる科目が異なります。詳細は別途「科目トライアル生資料」をご請求のうえ、ご確認ください。

■出願資格/学歴・年齢は問いませんが、正科生Aに入学するには大学入学資格(高校卒業等)が必要となります。

■入学時期/年間を通して随時受付(学習開始時期は申し込み時期による)

「科目トライアル生」から「正科生A」入学時の特典

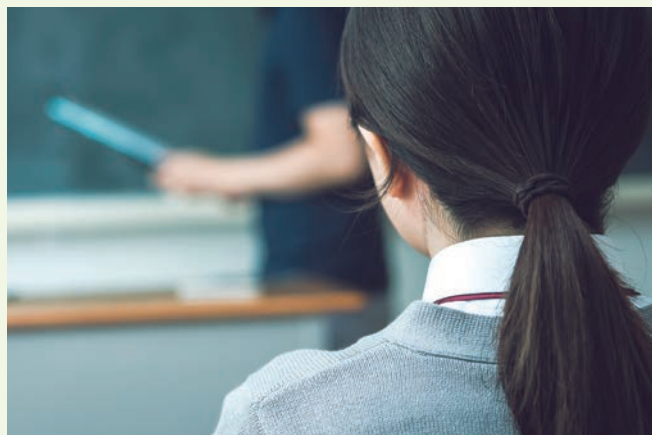
科目トライアル生を終了した学期末(9月末または3月末)から1年以内に入学すると以下の特典が受けられます。

- 正科生A出願の際にかかる入学選考料が免除されます
- 科目トライアル生で修得した単位は正科生A入学後に一括単位認定されます
- 科目トライアル生で受講した科目数分のインターネットメディア授業受講が免除されます

科目等履修生

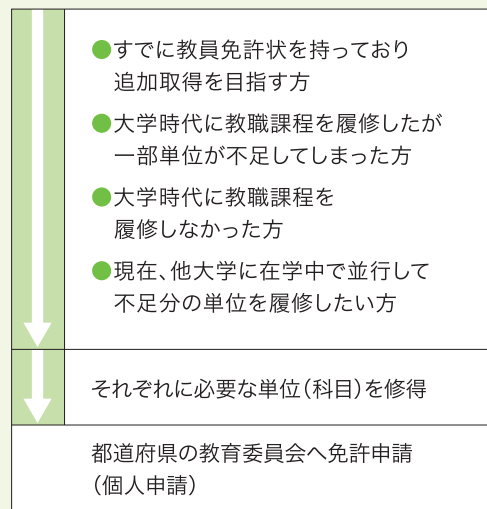
教員免許状取得など、目的に合わせて1科目から自由に学べます。

教員免許状の取得のみを目指す方、教員免許状の取得に一部単位が足りないという方、生涯学習や教養を広げたり研修のために学びたいという方のための入学形態です。それぞれ必要な科目だけを選んで履修し、単位を修得できます。なお、大学卒業(学位の取得)を目的とされる方は、正科生Aでご入学ください。



入学目的	<p>① 教員免許状の取得</p> <p>教員免許状を追加取得したい方、または新たに教員免許状を取得したい方など教員免許状取得に的を絞って学びたい方に最適です(大学卒業資格を有する方、他大学に在学中の方のみ科目等履修生で学習可能です)。</p>
	<p>② 一部科目の単位修得</p> <p>大学入学資格を有する方で、生涯学習や再学習、教養・研修のために学びたいという方にも適した入学形態です。興味ある科目を1科目から学べ、修得した単位は20単位まで正科生Aへ入学した際に認定されるので、まずは科目等履修生から学習を開始するという方法もあります。</p>
入学資格	高等学校卒業もしくは高等学校卒業程度認定試験(旧大検)合格により、大学入学資格を有している方
受講期間	<p>4月または10月からの1年間 (春期入学(4月生) 4月～3月の1年間) (秋期入学(10月生) 10月～9月の1年間)</p> <p>申請により継続して受講することができます。 継続は3回(通算4年間)まで可能です。</p> <p>※科目等履修生の出願に関する詳細は、入学志願要項21ページをご覧ください。</p>

教員免許状取得までのルート



再履修料
 (1単位×6,000円)
無料

1年間で必要科目(単位)がすべて修得できなかった場合、継続手続をすることにより科目等履修生の受講期間を1年間延長し、再履修することができます(継続は3回まで、通算受講期間4年まで)。その場合の再履修科目の履修料は再度支払う必要はありません。なお、1度終了して再度科目等履修生で入学し、学習することもできます。その場合、出願手続き他、入学金(25,000円)の納入などが必要となります。詳細は入学志願要項24ページを参照ください。

4月(春期)または10月(秋期)に入学。 いずれも入学資格の書類審査のみで入学試験はありません。

本学 通信教育部は入学試験がなく、出願書類がすべてそろっていれば全員入学できます。
入学後は、各自の目的や興味に応じた科目を自由に選択し学習します。

入学から卒業までの流れ

願書提出	<p>「郵送出願」とインターネットからの「ネット出願」の2種類があります</p> <p>「ネット出願」は、いつでも、どこからでも、思い立った時に申し込めます。願書の取り寄せなどの手間もかからず、手続きも簡単です。クレジットカードやコンビニでの決済もできて大変便利です。</p>																																																
書類審査	入学試験はなく入学資格の書類審査(確認)を行います。																																																
入学時期	4月または10月の年2回																																																
履修登録・ 教科書購入・ 教材配布	<p>講義概要を参考に履修科目を決めます。インターネット上で履修登録し、教科書購入の手続きをします。教科書が届いたら学習スタートです。</p> 																																																
授業開始	<p>○ 印刷授業(自宅学習) …詳細は16ページをご覧ください。</p> <p>○ インターネットメディア授業(e-Learning) …詳細は17ページをご覧ください。</p> <p>○ スクーリング(面接授業) …詳細は19ページをご覧ください。</p>																																																
科目試験	<p>科目試験は全国18カ所で受験できます</p> <p>科目試験会場は全国18カ所あり、好きな会場を選んで受けることができます。 一部の科目はインターネット試験で受験します。</p> <hr/> <p>科目試験スケジュール(申込から成績発表まで)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="5">前期</th> <th colspan="6">後期</th> </tr> <tr> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>① 試験申込締切</td> <td>① 科目試験</td> <td>① 成績発表</td> <td>② 試験申込締切</td> <td>② 科目試験</td> <td>② 成績発表</td> <td>③ 試験申込締切</td> <td>③ 科目試験</td> <td>③ 成績発表</td> <td>④ 試験申込締切</td> <td>④ 科目試験</td> <td>④ 成績発表</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">① 5月試験 スケジュール</td> <td colspan="3">② 7月試験 スケジュール</td> <td></td> <td colspan="2">③ 11月試験 スケジュール</td> <td colspan="3">④ 1月試験 スケジュール</td> </tr> </tbody> </table>	前期					後期						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		① 試験申込締切	① 科目試験	① 成績発表	② 試験申込締切	② 科目試験	② 成績発表	③ 試験申込締切	③ 科目試験	③ 成績発表	④ 試験申込締切	④ 科目試験	④ 成績発表		① 5月試験 スケジュール		② 7月試験 スケジュール				③ 11月試験 スケジュール		④ 1月試験 スケジュール		
前期					後期																																												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																						
	① 試験申込締切	① 科目試験	① 成績発表	② 試験申込締切	② 科目試験	② 成績発表	③ 試験申込締切	③ 科目試験	③ 成績発表	④ 試験申込締切	④ 科目試験	④ 成績発表																																					
	① 5月試験 スケジュール		② 7月試験 スケジュール				③ 11月試験 スケジュール		④ 1月試験 スケジュール																																								
単位修得	<p>科目試験は前期2回、後期2回、1科目につき年間最大4回の受験が可能です。</p> <p>単位修得のための科目試験は1科目につき年4回(5月、7月、11月、1月)実施しています。合格できなくてもすぐに次の試験日に受け直すことができます。なお、印刷授業で履修登録した科目は、科目試験とレポートの両方の合格が必要です。レポートは、科目試験当日に持参し、提出します。</p>																																																
卒業																																																	

「聴講生」の学びについて

インターネットメディア授業を聴講。

本学独自のインターネットメディア授業のみを聴講できる入学形態で、大学入学資格の有無など条件は問いません。24時間いつでも、どこでも気軽に学べるスタイルは、生涯学習、教養や研修を目的とした方に多く利用されています。

単位修得にこだわらずに、それぞれの興味や関心に合わせ、自由に科目を選んで学べます。なお、聴講できる科目は一部科目を除いたインターネットメディア授業開講科目です。聴講期間は約6ヵ月です。なお、単位認定のための科目試験は受験できません。

※聴講生の出願に関する詳細は、入学志願要項31ページをご覧ください。

「聴講生」とは

- 1科目1万円で学べる
- インターネットメディア授業が聴講できる
- 聴講期間は約6ヶ月
- 単位修得(科目試験の受験)はできない

聴講生向け開講科目一覧(春期・秋期)

No	科目名	科目分類 ※	
1	物理学の基礎	教養	
2	ヘルスリテラシー入門	教養	
3	英語Ⅱ(初級英会話)	教養	
4	英語Ⅳ(中級英会話)	教養	
5	初級中国語	教養	
6	マーケティング論	基礎	経営
7	情報リテラシー	基礎	情報
8	基礎数学	基礎	情報
9	コンピュータサイエンス入門	基礎	情報
10	コンピュータアーキテクチャ	基礎	情報
11	オペレーティングシステム基礎論	基礎	情報
12	コミュニケーション概論	基礎	情報
13	医学医療	基礎	情報
14	一変数の微分法	基礎	情報
15	経営者と意思決定	応用	経営
16	簿記原理応用編	応用	経営
17	財務会計学基礎編	応用	経営
18	情報システム学概論Ⅰ	応用	経営
19	情報システム学概論Ⅱ	応用	経営
20	プログラミング基礎	応用	情報
21	デジタル画像概論	応用	情報
22	プログラム言語Ⅰ	応用	情報
23	医療制度と医療情報システム	応用	情報

No	科目名	科目分類 ※	
24	宇宙への挑戦	応用	情報
25	統計科学と現象の分析	応用	情報
26	e-ビジネス総論	発展	経営
27	アントレプレナーシップ論	発展	経営
28	ERPシステム	発展	経営
29	知的所有権論	発展	情報
30	データベースシステム	発展	情報
31	コンピュータネットワーク	発展	情報
32	サーバ構築演習	発展	情報
33	ソフトウェアエンジニアリング	発展	情報
34	食と健康情報	発展	情報

(開講科目は2019年度の予定であり、変更となる場合があります。)



※科目分類の「基礎」、「応用」、「発展」は、科目の難易度目安を表しています。

科目分類の「教養」は「教養教育科目」、「経営」は「経営学系専門科目」、「情報」は「情報学系専門科目」を表しています。

「科目カプセル生」の学びについて

自分の興味のあるテーマに合った講座を受講。

5つのテーマを設定し、関連する科目をまとめていますので、この中から目的や興味に合わせて学べます。経営・情報・国際、現代のかつ具体的なテーマのもとでビジネスに役立つ知識・スキルを身につけられます。

なお、修得した単位の成績証明書や単位修得証明書は発行されません。

■出願資格／学歴・年齢は問いませんが、正科生Aに入学するには大学入学資格(高校卒業等)が必要となります。

■入学時期／4月、10月



※科目カプセル生の出願に関する詳細は、入学志願要項35ページをご覧ください。

「科目カプセル生」から「正科生A」入学時の特典

科目カプセル生を終了した学期末(9月末または3月末)から2年以内に入学すれば以下の特典が受けられます。

科目カプセル生で修得した単位を正科生A入学後に一括単位認定します。

講座一覧 下の講座から1つ選択します。

印刷授業 =  インターネットメディア授業 = 

講座名／講座概要	科目名／授業形態	科目分類
パソコンスキル修得講座 ～WordやExcelを上達させよう～ マウスの使い方からWordの文字入力、Excelの表計算までレクチャーするため、パソコンを使い慣れていない人でも学びやすいです。また、パソコンの仕組みや今後の可能性についても学べます。	① 情報リテラシー ★ ～WordやExcelを上達させよう～ 	合計4単位
	② コンピュータアーキテクチャ ★ ◆ ～未来のコンピュータを考えよう～ 	
売れるモノ・サービス秘訣マスタ講座 ～会社で役立つ心理学&経営学を学ぼう～ 仕事のモチベーション、上司や後輩とのコミュニケーション向上の秘訣から、消費行動、マーケティングなどの専門知識が学べます。	① 産業心理学 ★ ～組織・産業社会における人間行動の科学～ 	合計6単位
	② コミュニケーション概論 ★ ◆ ～意思疎通のメカニズム～ 	
	③ マーケティング論 ◆ ～自社の顧客であり続けてもらうための方法～ 	
国際化対応スキル修得講座 ～英語力と国際感覚を磨こう～ 【英語編初級コース】 英語を基礎から学びたい人向けのコースです。ビジネス基礎や流通を支える関連活動の知識など、グローバル社会の“今”を知ることができます。	① ブランドマネジメント ★ ◆ ～私たちがブランドに魅力を感じるのは何故か～ 	合計8単位
	② 流通概論 ◆ ～流通や販売の仕組みがよくわかる～ 	
	③ 英語Ⅰ(初級英語読解) ◆ ～日常会話に役立つ表現をマスターしよう～ 	
	④ 英語Ⅱ(初級英会話) ★ ～中高で習った英語を英会話で使いましょう!～ 	
国際化対応スキル修得講座 ～英語力と国際感覚を磨こう～ 【英語編中級コース】 英語の基礎を身につけている人向けのコースです。ビジネス基礎や流通を支える関連活動の知識など、グローバル社会の“今”を知ることができます。	① ブランドマネジメント ★ ◆ ～私たちがブランドに魅力を感じるのは何故か～ 	合計8単位
	② 流通概論 ◆ ～流通や販売の仕組みがよくわかる～ 	
	③ 英語Ⅲ(中級英語読解) ◆ ～知られざるアメリカの今～ 	
	④ 英語Ⅳ(中級英会話) ★ ～英語でよく出る言葉の色々な使い方を覚えましょう!～ 	
国際化対応スキル修得講座 ～中国語と国際感覚を磨こう～ 【中国語編】 難しいと言われている発音を分かりやすく教えてくれる中国語と、ビジネス基礎や流通を支える関連活動の知識など、グローバル社会の“今”を知ることができます。	① ブランドマネジメント ★ ◆ ～私たちがブランドに魅力を感じるのは何故か～ 	合計6単位
	② 流通概論 ◆ ～流通や販売の仕組みがよくわかる～ 	
	③ 初級中国語 ★ ～中国語ビギナーのための入門ガイダンス～ 	

★インターネット試験科目(インターネットによる試験方法) ◆会場試験科目

3つの授業形態で無理なく マイペースで学習できます

授業形態は次の3つ。

- ①教科書・学習用プリント集(CD-ROM)を基に主に自宅で学習する**(印刷授業)**
- ②本学独自のe-Learningシステム「無限大キャンパス」を利用した**(インターネットメディア授業)**
- ③各会場に出向き短期集中で学習する**(スクーリング(面接授業))**

これらの授業形態は科目により異なり、複数の授業形態が設定されている科目は
いずれか1つの方法を選択して受講します。学生はどの科目がどの授業形態で実施されているかを
講義概要で確認したうえで自由に科目を選択し、学習することができます。

印刷授業 (自宅学習)

- 本学での学習の基本となる授業形態
- 教科書と補助教材を使った自主学习
- 単位修得には、レポートと科目試験の両方の合格が必要
- 受講料などの追加費用がかからずに学習できる

詳しくは16ページをご覧ください

インターネット メディア授業 (e-Learning)

- インターネット上で動画を見ながら学習する授業形態
- 講義は何度でも繰り返し視聴可能
- レポートの提出は必要なし。科目試験だけで単位修得が可能
- 修得した単位はスクーリングの単位として取り扱うことが可能

詳しくは17ページをご覧ください

スクーリング (面接授業)

- 担当教員が直接授業を行う授業形態
- 全国の会場で3日間から6日間の短期集中授業
- 科目試験は最終日に実施
- レポートの提出は不要

詳しくは19ページをご覧ください

印刷授業 (自宅学習)

時間も場所も選ばない、好きなところでいつでもすぐに学べます。

本学の基本となる学習スタイルで、教科書と補助教材で学習を進めます。印刷授業は科目ごとにレポート提出と科目試験が必要になるものの、レポートは課題に沿って作成し、科目試験当日に持参・提出すればOKです。レポートと科目試験の両方の合格で単位が修得できます。

テキスト学習

單元ごとにしっかり理解。自分のやり方で学習を進めることができます。

教科書はわかりやすさを最優先に教員が作成または選定したものをそろえています。教科書を補助する本学オリジナルの学習用プリント集(CD-ROM)も用意しています。これまで多くの方がこの教科書を利用して単位を修得し、卒業していることを考えれば自宅学習に不安を持っている方もご安心いただけるはず。疑問点はe-mail・FAX・郵送の他、ポータルサイト「無限大キャンパス」で教員に質問できるので、自分のペースで着実に学べます。



レポート作成・提出

レポート提出は科目試験当日に持参すればOKです。

すべての印刷授業でレポート提出が必要です(卒業論文を除く)。レポート課題集の内容に沿って作成し、担当教員が添削指導を行います。

レポートは科目試験当日に持参すればよいので、試験勉強を兼ねてじっくりレポート作成に取り組むことができます。

レポートと科目試験の両方に合格すると単位が修得できます。レポートは一度合格したら、科目試験で不合格となっても再提出は不要です。

一部科目は、インターネット上でレポート提出や在宅試験ができます。

※2019年度は48科目予定

印刷授業の流れ

1	履修登録 履修する科目を選び、インターネット上で履修登録をします。教科書購入申込用紙も提出します。
2	自宅学習・レポートの作成 購入した教科書と学習用プリント集を基に学習します。疑問点はe-mail・FAX・郵送の他、ポータルサイト「無限大キャンパス」で質問できます。
3	科目試験の申込 科目試験を受験するためには各試験の申込期限までに 受験申込 が必要です。
4	レポート提出・科目試験受験(年4回実施) 科目試験当日までにレポートを仕上げ、科目試験会場に持参・提出します(全国18カ所で前期は5月と7月、後期は11月と1月に実施)。 ※科目試験会場は20ページをご覧ください。
5	レポート合格・科目試験の合格 レポートと科目試験の両方に合格すると単位が修得できます。レポートのみ合格した科目は、科目試験を再度受験します。
6	単位修得

選び抜いた教科書・各種教材が学びのパートナーです。

★学習用プリント集(CD-ROM)は教科書を補助するオリジナル教材です。



インターネットメディア授業 (e-Learning)

24時間臨場感のある学習ができます。

本学が独自に開発したインターネットメディア授業 (e-Learning) で場所を問わず学習ができます。画面に並んだ科目名をクリックすると、担当教員が出演する動画を見ながらの学習は、まるで講義と間近で受講しているような感覚で学習できます。受講期間内は何度でも繰り返し見ることができます。

インターネットメディア授業の6つの魅力

① スクーリングの単位として取り扱います。

インターネットメディア授業で修得した単位は、スクーリングで修得した単位として取り扱うことができるため、スクーリングを受講しなくても卒業要件のスクーリング単位数を満たすことができます。

② ライフスタイルに合わせた受講ができます。

24時間インターネットがつながる環境があればどこでも受講できます。また、「PETA3」の実装によりプログラミング系のソフトをインストールする必要もありません。時間や場所を選ばずに、いつでも自由に学習できます。

※一部科目ではWord等が必要な場合があります。

③ インターネットを活用した在宅試験も可能です。

一部の科目は、自宅で科目試験を受けることができます。試験問題はインターネットで提示され、解答は専用Webページで行います。詳細は右ページでご確認ください。

④ レポート不要。科目試験だけで単位修得できます。

印刷授業 (自宅学習) はレポート提出が必要ですが、インターネットメディア授業は単元ごとに進捗状況の確認を行っているため、科目試験だけで単位修得できます (一部科目は実習課題の提出が必要です)。

⑤ 確かな技術力で学習をバックアップ。

学習の進捗状況や連絡事項をe-mailでお知らせする「ほっとらいんメール」、インターネットメディア授業専用開設されたBBS (掲示板)、過去のQ&Aを自由に閲覧できるWebコールセンター、e-mailを使った質問や回答等で学習をバックアップします。

⑥ 短期集中型、じっくり型、マイペースでOKです。

よくわからなかったところを見直したい、じっくり学びたい、逆にまとめて短期集中で学ぶこともできます。目次・キーワード索引・映像シーン一覧・用語集があるほか、講義の重要な点を把握できる補助フリップも用意しています。

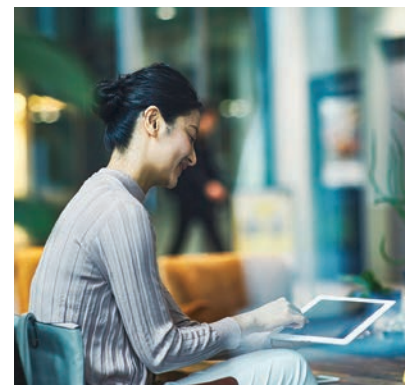


インターネットメディア授業はタブレットでも学習できます。(一部科目を除く)

本学独自開発の プログラム実習機能

「PETA3」

「PETA3」は、第4回日本e-Learning大賞『総務大臣賞』を受賞した「PETA2」をさらにバージョンアップさせた本学独自開発のプログラム実習機能です。独学では難しかったプログラミングやサーバ構築の実習が、特別なソフトをインストールすることなく自宅のパソコン等からWeb上で実践的かつ高度に行えます。実習の趣旨に沿っているかどうかプログラミングの内容を総合的に解析し、誤りがある場合は自動で指摘します。



『無限大キャンパス』を「無料体験」してみよう



「インターネットメディア授業無限大キャンパス」をクリック



「無限大キャンパス体験はこちら!」をクリック



「お試し受講」のページが開くので、「無限大キャンパス体験はこちら!」をクリック



画面に示されている「ユーザー名」と「パスワード」を入力してログイン

インターネットメディア授業の流れ

1	<p>履修登録</p> <p>履修する科目を選び、インターネット上で履修登録をします。履修登録を行うことで1科目あたり3単元まで視聴できるようになります。4単元以上進む場合には受講申込が必要です。同時に教材購入申込用紙も提出します。</p>
2	<p>受講</p> <p>教科書を参照しながら受講します。ビデオ・オン・デマンド方式なので、何度でも視聴することができます。</p>
3	<p>質疑応答</p> <p>BBS(掲示板)やe-mailを利用して質問することができます。</p>
4	<p>単元ごとに確認問題を解答</p> <p>知識の定着を図るため、各単元の最後には確認問題があります。インターネットで解答・解説が行われます(一部科目を除く)。</p>
5	<p>受講期間内に科目試験の受験に必要な単元数を受講</p> <p>科目ごとに設定された期間内に科目試験の受験に必要な単元数を受講します。なお一部科目は課題の提出を求められます。</p>
6	<p>科目試験の申込(会場試験科目のみ)</p> <p>会場試験科目の科目試験を受験するためには、各試験の申込期限内に受験申込が必要です。 ※インターネット試験科目は試験の申込の必要はありません。</p>
7	<p>科目試験の受験(年4回実施)</p> <p>一部科目は在宅受験ができます。その他は科目試験会場を受験します(前期は5月と7月、後期は11月と1月に実施)。 ※科目試験会場は20ページをご覧ください。</p>
8	<p>科目試験の合格・単位修得</p>

インターネットメディア授業全35科目開講(2019年度予定)

教養教育科目	インターネット試験	e実習	課題提出	タブレット学習
物理学の基礎	●			
ヘルスリテラシー入門	●			
英語Ⅱ(初級英会話)	●			●
英語Ⅳ(中級英会話)	●			●
初級中国語	●			●
経営学系専門教育科目	インターネット試験	e実習	課題提出	タブレット学習
マーケティング論				●
経営者と意思決定	●			●
簿記原理応用編	●			●
財務会計学基礎編	●			●
情報システム学概論Ⅰ	●			●
情報システム学概論Ⅱ	●			●
e-ビジネス総論				●
アントレプレナーシップ論	●			●
ERPシステム	●			●
情報学系専門教育科目	インターネット試験	e実習	課題提出	タブレット学習
情報リテラシー	●		●	※
基礎数学	●			●
コンピュータサイエンス入門				●
コンピュータアーキテクチャ	●			●
オペレーティングシステム基礎論	●			●
コミュニケーション概論	●		●	●
医学医療	●			●
一変数の微分法				●
プログラミング基礎		●	●	●
システム設計演習			●	●
デジタル画像概論			●	●
プログラム言語Ⅰ		●		
医療制度と医療情報システム	●			●
宇宙への挑戦	●			●
統計科学と現象の分析	●			
知的所有権論				●
データベースシステム		●	●	●
コンピュータネットワーク			●	●
サーバ構築演習	●	●		●
ソフトウェアエンジニアリング	●			●
食と健康情報	●			●

- インターネット試験…試験会場に行かず、自宅等で科目試験を受験できます。印のない科目は科目試験会場を受験します。一部科目は2019年度に限りインターネット試験と会場試験を選択できます。
 - e実習……………Web上(PETA3)で在宅実習をします。
 - 課題提出……………実習課題を作成し提出します(パソコンでの実習を推奨)。
 - タブレット学習……………タブレットで学習できます。
- ※情報リテラシーはパソコンのみ学習可能です。

“わかりやすい授業”を実現

動画表示

臨場感のある映像
高画質ビデオ・オン・デマンド方式で、臨場感のある講義を繰り返し受講できます。

用語集

単元のキーワードを一覧表示
見たい単語をクリックすると、解説を聞けるようになっています。

フリップ機能

講義内容をサポート
講義の補助情報をフリップでピンポイント解説。講義をしっかりと把握できます。

INDEX機能

いつでも自由に繰り返し学習可能
講義の目次・索引・検索等が用意されているので、見たい場面を瞬時に再生することができます。



スクーリング (面接授業)

3日間または6日間の集中講義で学習します。

スクーリングとは短期集中で行う対面授業のことで、教室で教員が直接授業を行い、最終日に実施される科目試験に合格すると単位が修得できます。普段は会う機会がない教員と実際に顔を合わせながら学習を進めていきますので、とても理解しやすい授業形態です。



スクーリングの種類

科目別に3種類のスクーリングを開講しています。

● 地方スクーリング

金・土・日の3日間、全国14ヵ所で集中講義として実施します。
※都合により変更や実施されない場合があります。

● 夏期スクーリング

3日間または6日間、7月～8月に本学及び東京・名古屋・大阪・福岡で実施します。

● 冬期スクーリング

「健康とスポーツ」を実施します。
※日程によっては地方スクーリングで実施する場合があります。

卒業に必要なスクーリング単位

通信教育で学士の学位を取るには、以下のスクーリング単位数が必要です。本学ではインターネットメディア授業で修得した単位をスクーリングの単位として取り扱うことができるので、選択の幅が広がります。

入学年次	卒業に必要なスクーリング単位数
1年次入学	30単位以上
2年次編入学	22単位以上
3年次編入学	14単位以上

※スクーリングで修得した場合でも、教員免許状(教職課程)取得に必要な単位のうち、一部卒業要件に含まれない単位(教職関係科目)があります。詳細は23ページをご覧ください。

スクーリングの流れ

1	履修登録 スクーリングの実施期間・会場を選んでインターネット上で履修登録します。同時に教科書購入申込用紙も提出します。
2	スクーリング受講申込 スクーリング受講を希望する場合は、決められた期間内に 受講申込 をする必要があります。
3	スクーリング参加 スクーリングは会場に出向き受講します(全国14ヵ所)。(会場は右ページをご覧ください)
4	科目試験の受験 科目試験はスクーリングの最終日、授業終了後に実施します。
5	科目試験の合格・単位修得 ※実習を伴う科目は、実習課題の提出が必要です。



スクーリング・科目試験会場 ～全国に広がるキャンパスネットワーク～

スクーリングや科目試験は、本学が所属するeDCグループの各校または提携校の校舎等で実施されます。



本学会場
北海道情報大学
〒069-8585 江別市西野幌59-2
TEL.011-385-4004

- JR札幌バスターミナルまたは中央バス札幌ターミナルから高速バスで約25分、野幌バス停徒歩5分
- JR野幌駅からバス5分
- 学生駐車場利用可能



東京会場
eDCビル
〒164-0001 東京都中野区中野5-62-1
TEL.03-3319-4003

- JR・地下鉄中野駅北口より徒歩1分



札幌会場
北海道情報専門学校内
〒003-0806 札幌市白石区菊水6条3-4-28
TEL.011-831-5511



秋田会場
秋田情報ビジネス専門学校内
〒010-0001 秋田市中通4-3-11
TEL.018-831-2535



新潟会場
新潟情報専門学校内
〒950-0901 新潟市中央区弁天2-3-13
TEL.025-241-1181



名古屋会場
名古屋情報メディア専門学校内
〒456-0062 名古屋市熱田区大宝4-19-14
TEL.052-681-9500



大阪会場
大阪情報専門学校内
〒537-0022 大阪市東成区中本1-5-21
TEL.06-6974-4611



広島会場
広島情報専門学校内
〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35
TEL.082-252-4411



北九州会場
KCS北九州情報専門学校内
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野2-4-1
TEL.093-531-9131



福岡会場
KCS福岡情報専門学校内
〒810-0003 福岡市中央区春吉1-11-18
TEL.092-711-0401



大分会場
KCS大分情報専門学校内
〒870-0037 大分市東春日町17-19
TEL.097-537-3911



鹿児島会場
KCS鹿児島情報専門学校内
〒890-0065 鹿児島市都元1-9-5
TEL.099-258-0121



沖縄会場
沖縄情報経理専門学校沖縄校内
〒904-0014 沖縄市仲宗根町8-11
TEL.098-938-3719



那覇会場
沖縄情報経理専門学校那覇校内
〒900-0012 那覇市泊2-1-8
TEL.098-862-3719

上記以外の科目試験会場：**旭川会場** **仙台会場** **横浜会場** **静岡会場**

※科目試験は会場により座席数の制限があります。科目試験の受験申込みにあたり、満席になり次第近隣の会場で受験していただく場合があります。あらかじめご了承ください。
※会場は年度により異なります。申込み人数により会場を変更する場合があります。

学びたい科目を自由に選べます

経営や情報の学習意欲を満たす 多彩な科目ラインナップ。

カリキュラムは2つの科目群で構成されています。ひとつは、幅広い知識の教授、知的訓練、社会の変化に対応できる資質と能力の育成を目標とした「教養教育科目」。もうひとつは学問の専門性を高める「専門教育科目」で、それぞれ基礎・応用・発展の3つに分かれています。「履修モデル」は履修科目を選択する際の指針となるものです。あくまでも参考のために設けていますので、「履修モデル」にとらわれず自由に科目を選択することができます。

中学校・高等学校教員免許状の取得につながる教職課程も開設しています。教員免許状の取得を目指す方は、「教職関係科目」についても履修する必要があります。



※2019年度予定カリキュラムのため、変更となる場合があります(2018年10月現在)。
※「システム情報学科情報数理専攻」または、「教職課程」を選択した場合は、必修科目の設定があります。
詳細は入学志願要項をご覧ください。

授業科目	単位数	授業形態				履修モデル【○印は推奨科目】							
		前期		後期		経営管理システム スペシャリスト	e-ビジネス スペシャリスト	グローバルビジネス スペシャリスト	情報技術基礎	情報テクニカル スペシャリスト	情報システム開発 スペシャリスト	健康情報	
		印刷授業	スクーリング	印刷授業	スクーリング								
資格認定 については、24ページをご覧ください													
●教養教育科目 [教養科目]													
心理学 ～こころと行動のしくみを探る～	2	●		●									
哲学 ～人間と世界について考える～	2	●	●	●	●								
物理学の基礎 ～物質とエネルギーから自然を考える～	2	●		●	●								
基礎生命科学 ～「生命」という宇宙のしくみを知る～	2	●		●									
ミステリを読む ～ミステリで知る文学の見方～	2	●		●									
サステイナビリティ学 ～地球と共に生きる～	2	●		●									
モチベーションの科学 ～人のやる気はどこから来るのか?～	2	●		●									
情報を食べる ～おいしさの秘訣は「情報」～	2	●		●									
メディア・リテラシー入門 ～真実を読み取る力～	2	●		●									
ヘルスリテラシー入門 ～医療や健康について正しい情報と知恵を身につけ、病気から体を守りましょう～	2		●		●								
健康科学 ～心身共に元気に生きる方法～	1	●		●									
健康とスポーツ ～健康とスポーツの探求～	1		●		●								
●教養教育科目 [外国語科目]													
英語Ⅰ(初級英語読解) ～日常会話に役立つ表現をマスターしよう～	2	●		●	●								
英語Ⅱ(初級英会話) ～中高で習った英語を英会話で使いましょう!～	2	●		●	●								
英語Ⅲ(中級英語読解) ～知られざるアメリカの今～	2	●	●	●	●								
英語Ⅳ(中級英会話) ～英語でよく出る言葉の色々な使い方を覚えましょう!～	2		●		●								
英語Ⅴ(実用英語) ～イデオムで英語のコミュニケーションを楽しもう～	2	●		●									
初級中国語 ～中国語ビギナーのための入門ガイダンス～	2	●	●	●	●								
●専門教育科目 [基礎] [経営学系科目] (履修年次の目安:1・2年次)													
憲法 ～権力と自由、そして平和～	2	●		●									
経営の基礎 ～企業とは何か、経営学とは何か～	2	●		●		○	○	○	○	○	○	○	
経営の応用 ～経営戦略の理論と実践～	2	●		●		○	○	○	○	○	○	○	
マーケティング論 ～自社の顧客であり続けてもらうための方法～	2	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	
簿記原理基礎編 ～企業活動と損益との関係～	2	●		●		○	○	○	○	○	○	○	
法学 ～裁判の新聞記事を読む前に～	2	●		●									
商法 ～ビジネスと法～	2	●		●									
経済学入門 ～競争と市場の役割を学ぶ～	2	●		●		○	○	○					
経営史 ～日本の経済・社会と企業の歴史が理解できる～	2	●	●	●	●	○	○						
流通概論 ～流通や販売の仕組みがよくわかる～	2	●		●		○	○	○			○		
現代経済学 ～ニュースによく出る経済学～	2	●		●		○	○	○					
人的資源管理論 ～働かせ方と働き方～	2	●		●		○	○	○					
職業指導 ～不透明な仕事の世界を生き抜く力～	2	●		●									
民法入門 ～市民生活と法～	2	●	●	●									

授業科目	単位数	授業形態				履修モデル〔○印は推奨科目〕									
		前期		後期		経営管理システム e-ビジネス e-ビジネス e-ビジネス	グローバル e-ビジネス e-ビジネス	情報技術基礎	情報システム開発 e-ビジネス e-ビジネス	情報システム e-ビジネス e-ビジネス	情報システム e-ビジネス e-ビジネス	情報システム e-ビジネス e-ビジネス	健康情報		
		印刷授業	インターネット メディア授業 スクーリング	印刷授業	インターネット メディア授業 スクーリング										
● 資格認定 については、24ページをご覧ください															
● 専門教育科目 〔基礎〕〔情報学系科目〕（履修年次の目安：1・2年次）															
情報リテラシー ～ワード・エクセル脱初心者～	2		●		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
行列と連立1次方程式 ～線形代数の基本ツール～	2	●		●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
基礎数学 ～e-Learningで学ぶ基礎～	2		●		●										
コンピュータサイエンス入門 ～0と1があればなんでもできる～	2	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
コンピュータアーキテクチャ ～未来のコンピュータを考えよう～	2	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
プログラムの仕組み ～アセンブラ言語によるプログラミングを通してハードウェアと親しくなる～	2	●		●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
コンピュータの構成 ～情報処理ハードウェア編～	2	●		●						○				○	
コンピュータの利用 ～情報処理ソフトウェア編～	2	●		●						○				○	
オペレーティングシステム基礎論 ～コンピュータの影分身～	2	●	●		●					○				○	
コミュニケーション概論 ～意思疎通のメカニズム～	2	●	●	●	●			○	○	○				○	
三角関数・指数関数・対数関数 ～知ってほしい関数達～	2	●	●		●			○	○	○					
電子工学概論 ～コンピュータを深く理解するために～	2	●		●								○			
ネットワークシステム概論 ～人間社会のいろいろなネットワーク～	2	●		●						○		○	○		
経営情報システム ～企業経営と情報技術～	2	●		●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
医学医療 ～体の構造と働きから病気を理解しよう～	2		●		●									○	
複素数 ～幾何学への応用～	2	●		●											
一変数の微分法 ～変化を探る～	2	●	●	●	●										
一変数の積分法 ～量の計算～	2	●	●	●	●										
データ解析入門 ～大規模データ時代の基礎～	2	●		●	●										
情報倫理 ～これを知らずしてネットすべからず～	2	●		●											
● 専門教育科目 〔応用〕〔経営学系科目〕（履修年次の目安：2・3年次）															
経営者と意思決定 ～企業経営の全体を理解する～	2	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ブランドマネジメント ～私たちがブランドに魅力を感じるのとは何か～	2	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
定量分析とその応用 ～ソフトウェアに頼らない統計解析～	2	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
簿記原理応用編 ～日々の取引の集積と決算～	2	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
財務会計学基礎編 ～資源の配分と資本主義との関係～	2	●	●	●	●	○									
情報システム学概論Ⅰ ～ITと経営課題を結びつけるものは何か？～	2	●	●	●	●	○									
情報システム学概論Ⅱ ～企業におけるIT活用の主要な分野とは？～	2	●	●	●	●	○									
経営戦略と組織 ～彼れを知り、己れを知らば、百戦して危うからず～	2	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
経営科学 ～管理者の判断を科学する～	2	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
管理会計論 ～経営の意思決定に役立つ会計～	2	●	●	●	●	○									
産業心理学 ～組織・産業社会における人間行動の科学～	2	●	●	●	●										
イノベーション概論 ～組織と技術をオープンにするビジネスモデル～	2	●	●	●	●	○	○								
消費者行動論 ～アンケートの考え方と作り方～	2	●	●	●	●	○									
ホスピタリティマネジメント ～ホスピタリティをプロフィットチェーンに繋げる～	2	●	●	●	●										
健康と社会 ～格差社会が健康を害する～	2	●	●	●	●									○	
イノベーション組織論 ～イノベーションを実現する戦略と組織～	2	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
● 専門教育科目 〔応用〕〔情報学系科目〕（履修年次の目安：2・3年次）															
ベクトル空間と線形写像 ～CG & 画像処理の基本概念～	2	●	●	●	●										
プログラム設計 ～質の良いプログラムは質の良いアルゴリズムから～	2	●	●	●	●					○	○	○	○	○	
プログラミング基礎 ～PCで空想を現実にする技術の基礎～	4	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
プログラミング言語の仕組み ～さまざまなプログラミング言語の基礎となる概念を学ぶ～	2	●	●	●	●					○	○	○	○	○	
アルゴリズム ～プログラミングの前に「アルゴリズム+データ構造」～	2	●	●	●	●					○	○	○	○	○	
オペレーティングシステム ～たっぷり記憶の超整理～	2	●	●	●	●					○	○	○	○	○	
システム設計演習 ～演習で実感できる～	2	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
インターネットアプリケーション ～文系学生がまなぶ情報学～	2	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
データ伝送のしくみ ～データはどのように相手に伝わるのか？～	2	●	●	●	●	○									
デジタル画像概論 ～失敗写真を甦らせるかも～	2	●	●	●	●					○	○	○	○	○	
プログラム言語Ⅰ ～Javaで学ぶプログラミングの基礎～	4	●	●	●	●										
知識マネジメントとその応用 ～創造活動のための「知」の支援～	2	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
代数学 ～抽象数学を学ぼう～	2	●	●	●	●										
多変数関数の解析 ～曲面を見る・測る～	2	●	●	●	●										
確率論 ～ランダムな世界での法則を知ろう～	2	●	●	●	●										
医療制度と医療情報システム ～医療の仕組みを知り、上手に健康管理～	2	●	●	●	●									○	
宇宙への挑戦 ～宇宙開発のこれまでとこれから～	2	●	●	●	●										
統計科学と現象の分析 ～ビックデータの活用法～	2	●	●	●	●										

学びたい科目を自由に選べます

授業科目	単位数	授業形態					履修モデル【○印は推奨科目】						
		印刷授業	スクーリング	インターネット メディア授業	印刷授業	スクーリング メディア授業	スベンヤリスト	e-ビジネス	グローバルビジネス スベンヤリスト	情報技術基礎	情報テクニカル スベンヤリスト	情報システム開発 スベンヤリスト	健康情報
資格認定 については、24ページをご覧ください													
●専門教育科目(発展)【経営学系科目】(履修年次の目安:3・4年次)													
e-ビジネス総論 ～進化するネットビジネスを読み解こう!～	2	●		●		●						○	
サプライチェーンマネジメント ～顧客・企業間の繋がりが生み出すバリュー～	2	●		●	●			○	○			○	
ベンチャービジネス論 ～知識の新たな組み合わせがイノベーションを起こす～	2	●		●			○		○				
アントレプレナーシップ論 ～企業家が発想する能力～	2	●	●	●		●		○	○				
ERPシステム ～システム開発の新たな潮流とは何か?～	2			●		●							
卒業論文	8			●									
●専門教育科目(発展)【情報学系科目】(履修年次の目安:3・4年次)													
ソフトウェア開発技術論 ～実践的なシステム開発手法を理解する～	2	●			●							○	
情報社会論 ～操作される社会情報と操られ続ける日本国民～	2	●			●							○	
ITマネジメント ～失敗せずにITを経営に活かすための企業組織とは?～	2	●			●			○	○				
ネットワークセキュリティ ～インターネットを安全に使うための技術と管理～	2	●			●			○	○	○	○	○	
知的所有権論 ～知識と技術と創造の生かし方、護り方～	2	●		●		●		○	○			○	
情報職業論 ～“情報”を生業(なりわい)とするために～	2	●			●								
データベースシステム ～一歩進んだデータ管理に向けて～	2	●	●	●	●	●				○	○	○	
データベース技術 ～Excelとは違うのだよ、Excelとは～	2	●			●					○	○	○	
データ通信システム ～データを間違いなく相手に伝える～	2	●			●			○	○		○	○	
音声情報処理 ～機械と対話するための技術～	2	●			●								
オブジェクト指向言語Ⅰ ～Javaでオブジェクト指向プログラミングを基礎から学ぶ～	2	●			●							○	
オブジェクト指向言語Ⅱ ～Javaでオブジェクト指向プログラミングの応用を学ぶ～	2	●			●							○	
コンピュータネットワーク ～インターネットの仕組みとセキュリティを理解する～	2	●		●		●						○	
サーバ構築演習 ～Linuxユーザから管理者へのステップ～	2	●		●		●						○	
人工知能の基礎 ～賢いコンピュータの基礎技術～	2	●			●	●						○	
ソフトウェアエンジニアリング ～ソフトウェア開発の本質とは何か?～	2	●		●		●							
応用数学 ～実現象と数学の架け橋～	2	●			●								
統計概論 ～データから情報を引き出すために～	2	●	●		●								
食と健康情報 ～食を知り、病気から身を守る～	2			●		●						○	
健康情報学 ～その健康法、信じますか?～	2			●		●						○	
コンピュータグラフィックス ～仮想空間を作る・見せる～	2	●	●		●								
暗号とインターネットセキュリティ ～数学が情報を守る～	2	●			●								
卒業論文	8				●								
●教職関係科目(新法)													
教科及び教科の指導法に関する科目	情報科教育法Ⅰ	2	●		●								
	情報科教育法Ⅱ	2	●		●								
	商業科教育法Ⅰ	2	●		●								
	商業科教育法Ⅱ	2	●		●								
	数学科教育法Ⅰ	2	●		●								
	数学科教育法Ⅱ	2	●		●								
	数学科教育法Ⅲ	2	●		●								
	数学科教育法Ⅳ	2	●		●								
数学科教育法Ⅴ	2	●		●									
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	2	●		●								
	教職概論	2	●		●								
	教育制度論	2	●		●								
	教育社会学	2	●		●								
	教育心理学	2	●		●								
	特別支援教育論	2	●		●								
	教育課程論	2	●		●								
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践 ※1	2	●		●								
	教育方法論と総合的な学習の時間の指導法	2	●		●								
	特別活動論	2	●		●								
	生徒指導	2	●		●								
	学校教育相談	2	●		●								
	進路指導	2	●		●								
教育実践に関する科目	教育実習Ⅰ	1		●		●							
	教育実習Ⅱ	2		●		●							
	教育実習Ⅲ	2		●		●							
	教職実践演習(中・高)	2				●							
●教職関係科目(旧法)													
教職に関する科目	教育の方法と技術	2	●		●								

※1)高等学校教諭一種免許状を申請の際は、教職関係科目「大学が独自に設定する科目」の単位となります。 ◆他の教職旧法科目は、新法科目と同一名称で同時開講となります。

資格認定制度と単位互換について

資格認定制度(正科生A向け)

国家試験や各種検定に合格している方(入学後の合格も含む)は、申請に基づき本学で修得した単位として認定します。これにより卒業までの修得単位数を軽減することができます。

卒業までに必要な単位数の例

1年次入学の場合

※「実用英語技能検定準1級」、
「簿記検定2級」、
「ITパスポート試験」の
資格を有している方

卒業要件124単位のうち、資格認定制度で8単位認定、残り**116単位**を修得すれば卒業可能となります。

卒業要件124単位のうち、「実用英語技能検定準1級」は「英語I(初級英語読解)」(2単位)および「英語V(実用英語)」(2単位)に「簿記検定2級」は「簿記原理基礎編」(2単位)に、「ITパスポート試験」は「インターネットアプリケーション」(2単位)に合計8単位が単位認定され、卒業までに116単位を修得すればよいことになります。
(なお、3年次編入の場合は卒業要件62単位のうち、資格認定制度で8単位認定、残り54単位で卒業可能です。)

分野	資格または検定	基準	科目名(各科目とも2単位)
外国語	実用英語技能検定((財)日本英語検定協会)	1級	英語V(実用英語) 英語I(初級英語読解)
		準1級	英語V(実用英語) 英語I(初級英語読解)
		2級	英語I(初級英語読解)
	TOEIC (財)国際ビジネスコミュニケーション協会)	730以上	英語V(実用英語) 英語I(初級英語読解)
		470以上	英語I(初級英語読解)
	中国語検定試験((財)日本中国語検定協会)	1級	初級中国語
準1級			
2級			
3級			
経理	簿記検定(日本商工会議所)	1級	簿記原理基礎編
		2級	簿記原理基礎編
		3級	簿記原理基礎編
	簿記能力検定(社)全国経理教育協会)	上級	簿記原理基礎編
		1級	簿記原理基礎編
中小企業診断士(社)中小企業診断協会)	合格	経営の応用 経営者と意思決定	
	合格	ITマネジメント	
情報	システム監査技術者試験 (独)情報処理推進機構)	合格	ソフトウェア開発技術論 オペレーティングシステム インターネットアプリケーション
		合格	ソフトウェア開発技術論
	情報処理安全確保支援士試験、 ITサービスマネージャ試験、 情報セキュリティスペシャリスト試験、 プロジェクトマネージャ試験、 システムアーキテクト試験、 ITストラテジスト試験、 応用情報技術者試験 (旧 ソフトウェア開発技術者試験) (旧 第一種情報処理技術者試験) (独)情報処理推進機構)	合格	オペレーティングシステム
		合格	インターネットアプリケーション
		合格	オペレーティングシステム
	エンベデッドシステムスペシャリスト試験、 データベーススペシャリスト試験、 ネットワークスペシャリスト試験、 基本情報技術者試験 (旧 第二種情報処理技術者試験) (独)情報処理推進機構)	合格	インターネットアプリケーション
		合格	インターネットアプリケーション
	ITパスポート試験 (旧 初級システムアドミニストレータ試験) (旧 システムアドミニストレータ試験) (独)情報処理推進機構)	合格	インターネットアプリケーション
		合格	インターネットアプリケーション
	情報検定(J検)情報システム試験 基本スキル (財)職業教育・キャリア教育財団)	合格	オペレーティングシステム 基礎論

分野	資格または検定	基準	科目名(各科目とも2単位)
情報	情報検定(J検)情報システム試験 プログラミングスキル (財)職業教育・キャリア教育財団)	合格	プログラム設計
	デジタル技術検定 1級情報部門 (財)国際文化カレッジ)	合格	コンピュータの構成 コンピュータの利用
医療	医師	合格	情報を食べる 健康と社会 医学医療 医療制度と医療情報システム 食と健康情報 健康情報学
			情報を食べる 健康と社会 医学医療
			情報を食べる 健康と社会 医学医療
			情報を食べる 健康と社会 医学医療
	歯科医師、獣医師、保健師、薬剤師	合格	医学医療 医療制度と医療情報システム 健康情報学
			情報を食べる 健康と社会 医学医療
	管理栄養士	合格	医療制度と医療情報システム 食と健康情報 健康情報学
			情報を食べる 健康と社会 医学医療
	栄養士	合格	医学医療 医療制度と医療情報システム 食と健康情報
			情報を食べる 健康と社会 医学医療
精神保健福祉士	合格	健康と社会 医学医療 医療制度と医療情報システム 健康情報学	
		情報を食べる 健康と社会 医学医療	
理学療法士、言語聴覚士、作業療法士、 看護師、介護支援専門員	合格	健康と社会 医学医療 医療制度と医療情報システム	
		健康と社会 医学医療	
救急救命士、社会福祉士、臨床心理士	合格	健康と社会 医学医療 医療制度と医療情報システム	
		健康と社会 医学医療	
はり師又はきゅう師、調理師、製菓衛生師、 准看護師、助産師、臨床検査技師、 歯科衛生士、歯科技工士	合格	情報を食べる 医学医療 医療制度と医療情報システム	
		情報を食べる 医学医療 医療制度と医療情報システム	
あん摩マッサージ指圧師、柔道整復師、 診療放射線技師、臨床工学技士、 義肢装具士、視能訓練士、介護福祉士	合格	医学医療 医療制度と医療情報システム	
		医学医療 医療制度と医療情報システム	

注意

資格認定の申請には合格証明書等の証明書原本が必要となります(医療分野の資格のために免許状等の写しを提出する場合を除く)。
なお、提出いただいた証明書は返却できませんのであらかじめご了承ください。(TOEICなど証明書の発行期限がある場合がありますのでご注意ください。)

放送大学との 単位互換が可能です。

正科生Aが放送大学の「特別聴講学生」として本学が指定した放送大学開講科目の単位を修得することで、本学の卒業要件単位として認定します。

※2018年度第2期の実績は「社会福祉への招待」「国際経営」の2科目(4単位)でした。



教職課程

2019年度からの教職課程は再課程認定申請中です。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

「高等学校教諭1種免許状(情報)(商業)(数学)」と、「中学校教諭1種免許状(数学)」が取得可能です。

教職課程を履修すると、「高等学校教諭1種免許状(情報)(商業)(数学)」「中学校教諭1種免許状(数学)」が取得できます。複数の免許状を同時に取得することで教員採用試験の受験機会が増えるので、採用の可能性が広がります。

正科生Aの方

本学で取得できる免許状の種類

高等学校教諭1種免許状	情報 商業 数学
中学校教諭1種免許状	数学

※正科生Aとして数学(中・高または両方)の教員免許状取得を目指す方を対象とした「情報数理専攻」があります。数学教員として実践的な指導能力を身につけるため、卒業要件として必修科目が設置されています(「情報数理専攻」でなくても数学の免許状は取得可能です)。

※「情報」はシステム情報学科、「商業」は経営ネットワーク学科、「中・高数学」はシステム情報学科情報数理専攻で免許申請に必要な単位を修得できますが、他学科履修が可能なので、どの学科で入学しても、「情報」、「商業」、「中・高数学」の免許状取得が可能です。

■適用となる免許法

2019年度以降に入学される方(正科生A1年次入学、正科生A2・3年次編入学生、科目等履修生、再入学生)は、「新免許法」が適用されますが、右記の条件の編入学生および再入学生のみ「旧免許法」が適用されます。

■旧免許法の適用となる条件

- 2019年度の適用条件は、春期入学が以下の1と2、秋期入学が1と3に該当すること
- 2019年3月31日まで教職課程を有する4年制大学(本学含む)に在学していること
 - 2019年3月31日に上記1の大学を退学して、2019年4月1日に本学に編入学または再入学すること
 - 2019年9月30日に上記1の大学を退学して、2019年10月1日に本学に編入学または再入学すること

大学を卒業(学士取得)と同時に教員免許状を取得する方(免許法第5条別表第1による場合)

新法の場合	高等学校教諭1種免許状	情報 商業 数学 のいずれか1つ →	大学卒業要件 124単位 2年次編入学の方は 94単位 3年次編入学の方は 62単位	+ 教職関係科目	31 [※] 単位
	高等学校教諭1種免許状	情報 商業 数学 のいずれか2つ →		+ 教職関係科目	35 [※] 単位
	高等学校教諭1種免許状	情報 商業 数学 のすべて →		+ 教職関係科目	39 [※] 単位
	中学校教諭1種免許状	数学 の免許状を取得の場合 →		+ 教職関係科目	39 [※] 単位
	中学校教諭・高等学校教諭1種免許状	数学 の免許状を取得の場合 →		+ 教職関係科目	41 [※] 単位

※本学で修得する「教職関係科目」の単位数は、修得する科目により単位数が変動します。詳しくは入学志願要項53～55ページをご覧ください。

旧法の場合	高等学校教諭1種免許状	情報 商業 数学 のいずれか1つ →	大学卒業要件 94単位 2年次編入学の方は 94単位 3年次編入学の方は 62単位	+ 教職に関する科目	29 [※] 単位
	高等学校教諭1種免許状	情報 商業 数学 のいずれか2つ →		+ 教職に関する科目	33 [※] 単位
	高等学校教諭1種免許状	情報 商業 数学 のすべて →		+ 教職に関する科目	37 [※] 単位
	中学校教諭1種免許状	数学 の免許状を取得の場合 →		+ 教職に関する科目	37 [※] 単位
	中学校教諭・高等学校教諭1種免許状	数学 の免許状を取得の場合 →		+ 教職に関する科目	39 [※] 単位

※本学で修得する「教職に関する科目」の単位数は、修得する科目により単位数が変動します。詳しくは入学志願要項63～64ページをご確認ください。

科目等履修生の方

初めて免許状を取得する方（免許法第5条別表第1による場合）基礎資格：学士の学位を有すること

高等学校教諭1種免許状	情報 商業 数学 のいずれか1教科の免許状を取得の場合	⇒ 必要単位数は 67単位
	情報 商業 数学 のいずれか2教科の免許状を取得の場合	⇒ 必要単位数は 99単位
	情報 商業 数学 の3教科すべての免許状を取得の場合	⇒ 必要単位数は 131単位
中学校教諭1種免許状	数学 の免許状を取得の場合	⇒ 必要単位数は 67単位
中学校教諭・高等学校教諭1種免許状	数学 の免許状を取得の場合	⇒ 必要単位数は 71単位

すでに高等学校教諭1種免許状・高等学校教諭専修免許状を所持している方（免許法第6条別表第4による場合）

高等学校教諭1種免許状	情報 商業 数学 のいずれか1教科の免許状を取得の場合	⇒ 必要単位数は 24単位
	情報 商業 数学 のいずれか2教科の免許状を取得の場合	⇒ 必要単位数は 48単位
	情報 商業 数学 の3教科すべての免許状を取得の場合	⇒ 必要単位数は 72単位

すでに中学校教諭1種免許状・中学校教諭専修免許状を所持している方（免許法第6条別表第4による場合）

中学校教諭1種免許状	数学 の免許状を取得の場合	⇒ 必要単位数は 28単位
------------	---------------	---------------

すでに中学校教諭1種免許状・中学校教諭専修免許状および高等学校教諭1種免許状・高等学校教諭専修免許状を所持している方（免許法第6条別表第4による場合）

中学校教諭・高等学校教諭1種免許状	数学 の免許状を取得の場合	⇒ 必要単位数は 30単位
-------------------	---------------	---------------

★教科「技術」の中学校教諭1種免許状をすでに所持し、中学校の教員としての実務経験が3年以上あって「情報」免許状を取得する方や、教科「数学」の中学校教諭1種免許状をすでに所持し、中学校の教員としての実務経験が3年以上あって高校の「数学」免許状を取得する方については、入学志願要項50ページおよび82ページをご覧ください（免許法第6条別表第8による場合）。

■科目等履修生 履修上の注意事項

取得を希望する免許(教科)について、すでに他大学で必要な単位の一部を修得済みの場合、その単位と本学で取得した単位を併せて申請することができる場合があります。複数の大学の単位を併せて申請できるか否かについては、教育委員会の判断となりますので、必ず免許を申請する都道府県の教育委員会で履修科目・単位の指導を受けてください。



サポート制度

■ ポータルサイト(無限大キャンパス)

入学後は、このポータルサイトで主に次のことが行えるようになります。

- インターネットメディア授業の受講
- 講義概要の閲覧・ダウンロード
- レポート課題の閲覧・ダウンロード
- 履修登録
- 成績照会
- 各種申請書のダウンロード
- 各科目の学習内容の質問
- 通信教育部事務部への問い合わせ
- 履修情報や学習状況の確認 など

その他に各種手続きについてのご案内は、新着情報としての掲載やメール配信等で行っています。



■ 学生便覧・学習用プリント集

学生便覧は、授業形態、スケジュール、単位の修得方法、各種事務手続きなどが詳しく説明されています。学習を進めていくうえで重要なハンドブックです。学習用プリント集は、教科書を補助するオリジナル教材で、CD-ROMで配付されます。



■ 郵便料金の割引特典

通信教育関係の郵便物のうち、質問票、卒業論文といった直接学習に関わるものは、「第四郵便物」として郵便料金の割引が受けられます。

■ スクーリング・科目試験の出席依頼状の発行

スクーリングや科目試験に出席するために、勤務先に休暇を申請する場合、本学から出席依頼状を発行することができます。

■ 国家試験対策用のe-Learningを利用(無料)

国家試験の「ITパスポート試験」や「基本情報技術者試験(午前問題)」の試験対策を、e-Learningで学べる「JOHO-BOX」を無料提供します。本学グループの電子開発学園が豊富な知識と経験をもとに厳選した過去問題と徹底解説による試験対策用e-Learningで、およそ700問から800問の問題を用意。学習段階にあわせた多彩なモードがあり、基礎を学習する「シラバスモード」、弱点を集中的に学習する「弱点克服モード」、試験直前用の「模擬試験モード」で試験対策を強力にサポートします。その他、「医療情報基礎知識検定」対策用のe-Learningも用意しています。

- 利用対象者：正科生Aのみ。(他の入学形態の方は利用できません)
- 利用期間：正科生Aは在籍中いつでも利用できます。
- 利用方法：入学後に本学よりお送りするID・パスワードを入力することで学習を開始できます。

■ DVD貸出しサービス(正科生Aのみ)

正科生Aのうち、希望者には、正科生B(専門学校との併修生)の授業を録画したDVDの貸出しサービスを行っています。
※郵送料本人負担

■ 奨学金制度・税金の控除など

北海道情報大学奨学金	成績優秀の正科生Aの方に対する給付型の北海道情報大学独自の奨学生制度があります。詳細は入学後、ご案内します。				
日本学生支援機構奨学金 (第一種・第二種)	公的な奨学金の貸与制度です。希望する正科生Aのうち、人物・学業ともに優れ、かつ健康で、経済的理由により著しく就学に困難があると認められる方は、この奨学金を貸与できます(貸与は夏期・冬期いずれか年1回のみ)。なお、本学会場で実施する夏期スクーリングまたは冬期スクーリングを当該年度内に受講することなどの貸与条件があります。				
株式会社オリエンコーポレーションや株式会社ジャックスの学費分割給付制度を利用して、入学金や授業料などの学費を月々の分割返済ができます。 <small>※詳細は入学志願要項6ページをご覧ください。</small>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 利用例① 正科生A </div> <p>毎月6,000円から返済可能</p> <p>「正科生A」入学手続き金10.7万円のうち10万円を毎月6,000円(2018年度実質年利3.5%)で返済する場合の利用例は以下となります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">オリコの学費サポートご利用例</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ●ご利用金額/10万円 ●ご返済例/毎月6,000円×18回(1年6ヵ月返済) ●ご返済総額/102,654円(分割手数料含む) </td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 利用例② 科目等履修生 </div> <p>毎月6,000円から返済可能</p> <p>「科目等履修生」で情報の免許状を免許法第6条別表第4で取得する場合の費用約25万円のうち16.9万円を毎月6,000円(2018年度実質年利3.5%)で返済する場合の利用例は以下となります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">オリコの学費サポートご利用例</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ●ご利用金額/16.9万円 ●ご返済例/毎月6,000円×30回 ●ご返済総額/176,590円(分割手数料含む) </td> </tr> </table> <p><small>※出願前に教育ローンの制度を利用できるか確認できますので、事前にご確認の上、ご利用ください。</small></p>	オリコの学費サポートご利用例	<ul style="list-style-type: none"> ●ご利用金額/10万円 ●ご返済例/毎月6,000円×18回(1年6ヵ月返済) ●ご返済総額/102,654円(分割手数料含む) 	オリコの学費サポートご利用例	<ul style="list-style-type: none"> ●ご利用金額/16.9万円 ●ご返済例/毎月6,000円×30回 ●ご返済総額/176,590円(分割手数料含む)
オリコの学費サポートご利用例	<ul style="list-style-type: none"> ●ご利用金額/10万円 ●ご返済例/毎月6,000円×18回(1年6ヵ月返済) ●ご返済総額/102,654円(分割手数料含む) 				
オリコの学費サポートご利用例	<ul style="list-style-type: none"> ●ご利用金額/16.9万円 ●ご返済例/毎月6,000円×30回 ●ご返済総額/176,590円(分割手数料含む) 				
税金の控除	勤労学生は所得控除が受けられます。正科生Aのうち、年間収入が一定額に満たない方については、所得税法により勤労学生控除が適用されます。詳細については最寄りの税務署にお問い合わせください。				
学割証	通学にかかる交通費には学割が使えます。正科生Aであれば、スクーリングへの出席、科目試験の受験、卒業論文総合面接の受験、入学式・学位記授与式など、大学行事への出席に際して「学割証」を使用することができます。ただし、JRにおける乗車区間が営業距離で最短片道区間100kmを超える場合のみ有効です。				

Q & A

入学に関するQ&A

Q 通学課程の大学と通信教育課程の大学は何か違うのですか？

A 学習方法が異なりますが、履修内容と単位は同一水準です。卒業時には学士(経営情報学)の学位が授与されます。

Q 入学試験はありますか？

A 入学試験はありません。入学資格の書類審査のみ行います。

Q 入学の時期はいつですか？

A 入学のタイミングは4月(春期)と10月(秋期)の年2回です。なお、科目トライアル生については、年間を通して随時申し込みを受け付けています。

Q 他の大学に在籍している場合、北海道情報大学の正科生Aとして入学できますか？

A 「学校教育法」に定める他の大学・短期大学・大学院・高等専門学校等に在籍している方は、正科生Aとして入学することはできません(卒業見込みまたは修了見込みの方が出願する場合はこの限りではありません)。

Q 他大学の科目等履修生で勉強しながら北海道情報大学の科目等履修生として学ぶことは可能ですか？

A 先方の大学が認めるのであれば、本学としては問題ありません。

Q 大学を中途退学した場合、3年次編入学は可能ですか？

A 次の条件を満たす方は3年次編入学が可能です。
条件：同一の大学に継続して2年以上在学し、62単位以上を修得した方。
また、次の条件を満たす方は2年次編入学が可能です。
条件：同一の大学または短期大学に継続して1年以上在学し、30単位以上を修得した方。

Q 一括認定単位とは、具体的にどの単位を認定するのですか？

A 他大学等で修得済みの単位を、科目の種類・内容に関わらず単位数のみで認定するものです。出身の大学(短期大学など)がどのようなカリキュラムであっても、本学編入学時の一括認定単位数は入学年次が同じであれば全員共通となります。

学びに関するQ&A

Q パソコンは準備する必要はありますか？

A インターネットメディア授業の受講、レポートや実習課題の作成、ポータルサイトの利用など、学習するうえでパソコンとプリンタ、インターネット環境が必要となりますので、必ずご準備ください。特に、教職課程の情報と数学の科目を履修する場合は、パソコンを利用した実習を行う科目があります。なお、パソコンの性能については、インターネットメディア授業を受講できる動作環境であれば差し支えありません。
※動作環境は入学志願要項33ページをご覧ください



Q 図書館の遠隔利用はできますか？

A 本学所蔵図書の貸し出し等ができます。詳細は本学ホームページでご確認ください。

Q レポートの提出回数と時期はいつになりますか？

A レポートは印刷授業で履修する場合に必要となり、1科目あたり、1回の提出となります。また、科目試験を受験する際、科目試験会場で提出します(「健康科学」を除く)。一部科目はインターネット上で提出します。

Q インターネット試験の受験方法は？

A 定められた受験期間内でお好きな日時に受験することができます。受験するためには、パソコンを用いて本学通信教育部ポータルサイト「無限大キャンパス」にアクセスする必要があります。

Q 科目試験はどのように受験しますか？

A 3つの授業形態のうち、印刷授業(一部科目を除く)とインターネットメディア授業(インターネット試験を除く)は、科目試験会場にて筆記試験を実施します。日程は、土日2日間を1回の試験とし、前期は5月と7月、後期は11月と1月に行います。試験に合格すると、その科目は単位修得となります。

Q 必ず履修モデルに設定された科目を履修しなければならないですか？

A 履修モデルに設定された科目は必修ではありませんので、すべて履修する必要はありません。

Q 科目は通年履修ですか？それとも前期・後期いずれかの学期での履修ですか？

A いずれの科目も半期での履修となります。

Q 前期で不合格になった科目を後期に再履修することはできますか？

A 再履修が可能です。レポートが合格していた場合には再履修時の提出は不要です。

Q スクーリングはすべての日数に出席する必要がありますか？

A 短期集中で授業が行われますので、すべて出席していただく必要があります。なお、スクーリングで仕事を休む必要がある場合、本学から勤務先にスクーリング出席依頼状を発行することができます。



Q 卒業するためにスクーリングは必ず出席する必要がありますか？

A 卒業にはスクーリングまたはインターネットメディア授業で、1年次入学の場合30単位以上、2年次編入学の場合22単位以上、3年次編入学の場合14単位以上が必要です。必要単位をインターネットメディア授業で修得すれば、スクーリングなしでも卒業可能です。

Q 卒業論文は必修科目ですか？必ず提出しなければなりませんか？

A 卒業論文は選択科目ですので、履修・提出しなくても卒業が可能です。なお、選択できるのは正科生Aのみです。

教職に関するQ&A

Q 複数の教科(情報・商業・数学)を履修して、同時に免許を取得できますか？

A できます。同時に申請する場合は事前に免許申請を行う都道府県の教育委員会へご確認ください。

Q 他大学で修得した単位を免許申請に使用できますか？

A 大まかに次の2通りが考えられます。

1. 単位を修得した大学から、免許申請用の「学力に関する証明書」を発行していただき、本学の証明書と併せて都道府県の教育委員会へ提出(本学へご入学の前に、予め、免許の申請を行う都道府県の教育委員会へ申請の可否をご確認ください)。
2. 他の大学の単位を本学で修得したものとして単位認定するもの。ただし、単位認定は正科生Aのみで、科目等履修生には単位認定を行いません。

Q 教職課程の登録はいつ行うのですか？

A 正科生Aは履修登録時に、科目等履修生は出願時に行います。

Q 教育実習は必要ですか？

A 初めて教員免許を取得する場合は、教育実習は必須です。

Q 中学校教諭1種免許状は誰でも取得できますか？

A 所定の教職課程を履修すれば取得できます。大学を卒業されている方は科目等履修生として必要な科目を履修すれば取得できます。
※詳細は入学志願要項49ページ「Ⅶ.教職課程」をご覧ください。

Q 中学校教諭1種免許状に必要な介護等体験は受けられますか？

A 介護施設で5日間、特別支援学校で2日間の実習を行います。いずれも北海道での受講が可能なお方のみ受けることができます。

Q すでに高校1種免許を持っており、免許法第6条別表第4をもとに「情報」の免許を申請しようと思っています。この場合必ずスクーリングを受講しなければならない科目はありますか？

A 必修科目の「システム設計演習」と「プログラミング基礎」の2科目はインターネットメディア授業でも開講されますので、インターネットメディア授業を受講すればスクーリングの必要はありません。なお、「商業」「数学」の場合はスクーリングおよびインターネットメディア授業の必修科目はありません。

Q 教職課程「情報」の教科に関する科目の中で実習を含むとなっている科目がありますが、印刷授業やインターネットメディア授業では、どのように実習をするのですか？

A 実習を含む科目を印刷授業で履修する場合は自宅等で課題を作成し提出することになります。実習課題はレポート課題の中に含まれていますので、レポートを提出することで自動的に実習課題も提出することになります。インターネットメディア授業の場合は科目により異なり、実習課題の提出が必要な科目と、授業内容に課題が含まれる科目があります。

その他の質問

Q 教育ローンはありますか？

A 株式会社オリエンコーポレーションと株式会社ジャックスとの提携による学費サポートプランが受けられます。
※詳細は入学志願要項6ページをご覧ください。



先輩からのメッセージ



在 学生インタビュー 歯科衛生士 井上 仁美さん
正科生A(システム情報学科)-2017年4月入学/愛知県在住

子育てが一段落したのを機に入学。
“学ぶ”って本当に楽しいです。

本学を知ったのは5年前です。「通信教育」で「情報」を学べて「大卒資格」も得られることに強く惹かれました。私は専門学校卒なので、ずっと大卒という響きに憧れのようなものを持っていました。昔からコンピューターと情報分野にも興味があったんです。ただ、子どもが大きくなるまでは育児に専念したかったので“時”が来るのを待っていたというわけです。念願かなって今、ここで学んでいます。仕事と主婦業をこなしつつ、インターネットメディア授業を活用し、一日1コマを目標に勉強に取り組んでいます。特に面白いと感じているのは「情報リテラシー」という科目で、HTMLなどもっと多くの知識を吸収したいという意欲が湧きました。職場でホームページを作った際に、ここで学んだことが大いに役立ち、仕事仲間にもほめられて嬉しかったですよ。また、私が学ぶ姿を見て、子どもも情報分野に興味を持ち始めたようで、それも高い副産物かなと。これからはもっと専門性の高い領域に視野を広げ、楽しみながら学び続けていきたいです。



在 学生インタビュー 市職員 徳永 奈美さん
正科生A(システム情報学科)-2017年4月入学/福岡県在住

憧れの教職、仕事との両立を叶える
システムに助けられました。

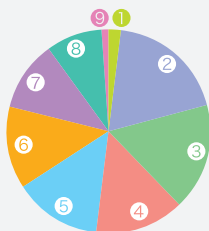
以前から憧れていた教職の道に進むため、教員免許状を取得できる大学を探していました。私は専門学校卒なので、大卒資格が取得できることも条件でした。そんな時に見つけたのが本学です。学費が割安ですし、全国に試験会場があるので私の地元でも受験できます。さらに専門学校で取得した資格が単位として認定される制度があると知り、入学を決めました。現在は市職員の仕事をしながら、情報科と高校数学の教職課程を学んでいます。平日は昼休みと終業後勉強時間に充てており、仕事帰りに図書館に寄るのが日課になっていますが、久しぶりの学びに新鮮な気持ちで取り組んでいます。試験は土日を実施されますし、スクーリングも必修ではないので、働きながらも自分のペースで勉強を進められます。授業案の作成方法など分からないことがあっても、質問票を活用して先生から具体的なアドバイスがもらえるので安心です。これからも継続して勉強に励み、教育実習、そして教員採用試験へと着実に歩みを進めていきたいと思ひます。

在学生DATA ● 年齢構成

10代から60代以上の幅広い年齢の
学生が在学しています

※2018年8月末現在

- ① 10代……………2%
- ② 20～24歳……9%
- ③ 25～29歳……7%
- ④ 30～34歳……4%
- ⑤ 35～39歳……4%
- ⑥ 40～44歳……3%
- ⑦ 45～49歳……1%
- ⑧ 50代……………9%
- ⑨ 60代以上……1%

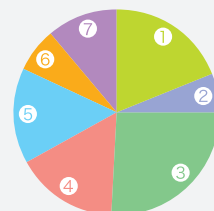


在学生DATA ● 地域分布

北海道から九州まで
全国各地で学んでいます

※2018年8月末現在

- ① 北海道…………19%
- ② 東北……………6%
- ③ 関東……………26%
- ④ 北陸・東海……6%
- ⑤ 近畿……………15%
- ⑥ 中国・四国……7%
- ⑦ 九州……………11%





在 学生インタビュー 高校教諭 石田 雅章さん
科目等履修生・2017年4月入学／大阪府在住

一度はあきらめかけた数学の教員免許。
本学で効率良く取得できました。

高校で英語を教えています。新たに数学の教員免許を取得するため、本学通信教育部に入りました。学生時代から温めていた数学への興味を形にしようと、数年前に他大学の通信教育部で挑戦したものの、必修単位の半分を取得するのが精一杯で頓挫。悔しかったですね。当時、学校では担任とクラブ顧問を務めていた40歳過ぎの私には、単位認定のためにレポートを仕上げ、別日に試験を受ける、この二つの山を切り切る気力と体力に余裕がなかったんです。再起をかけて臨んだ本学通信教育部だと、科目試験当日にレポートを持参するので、目指す山を一つにできるメリットがありました。おかげで集中でき、スムーズに学習を進められました。念願の免許状を手にした時は本当にうれしかったです。数学の論理的思考は、英語の学びにも生かせる点があると気付かされて面白いと感じましたし、学びの楽しさを改めて感じられたことも自身の大きな糧になりました。この経験を生かし、生徒には、英語や数学が好きになれるような教え方をしていきたいです。



在 学生インタビュー 高校教諭 青木 千日代さん
科目等履修生・2017年4月入学／茨城県在住

生徒と学ぶ喜びを分かち合いつつ、
文理に強い教員を目指しています。

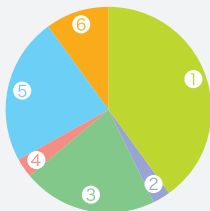
昨年、本学通信教育部で情報の教員免許状を取得し、今年からは数学の教員免許状の取得に挑戦しています。勤務する高校では国語を教えています。もともと情報分野に興味があり、高校の必修科目でもある情報の免許状を持つことで自身の可能性を広げたいと思い入学しました。情報免許状の学習の際、インターネットメディア授業は説明が丁寧で分かりやすかったですし、画面も見やすく操作が簡単なので勉強がはかどりました。情報の免許状を無事に取得した後、今度は“文系と理数系科目の両方に強い教員になる”という目標を新たに立て、数学の免許を取得することにしました。過去に他大学の通信教育部で英語の教員免許状を取得していたので、数学が加われば文理3科目+情報科を教えられます。何より私が学生として学ぶ姿勢が生徒にも刺激になっているようで、他教科の教員と一緒に質問に行くなど、競争しながら学ぶ喜びを分かち合っています。それがきっかけで教員同士のコミュニケーションも活発になりました。これからも楽しみながら勉強を続けたいです。

在学生DATA ● 職業構成

さまざまな業種、職種の学生が在学しています

※2018年8月末現在

- ① 教員……………40%
- ② 公務員(教員以外)……………3%
- ③ 会社員・銀行員等……………21%
- ④ 個人営業・自由業……………3%
- ⑤ 無職(学生含む)……………23%
- ⑥ その他……………10%

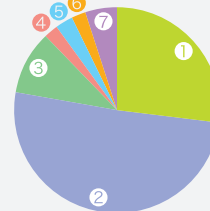


在学生DATA ● 入学の動機

資格の取得やスキルアップを目的として入学しています

※2018年8月末現在

- ① 大学卒業資格を得るため……………27%
- ② 職業上の資格を得るため……………51%
- ③ 職業上の知識技術習得のため……………10%
- ④ 本学で学びたいから……………2%
- ⑤ 教養のため……………3%
- ⑥ 生涯学習・再学習のため……………2%
- ⑦ その他……………5%



北海道情報大学について

通信教育部長のメッセージ

「さらに輝くための一歩を」

「大学で学ぶ」ということは、ある意味ハードルが高いことかもしれません。でも、一念発起してこれに挑戦しようとしている皆さんは、きっと自分を成長させたいという強い気持ちをお持ちなのだと思います。今、皆さんの目はキラキラ輝いているに違いありません。

最近、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)等でキラリと光る方たちの生き方を垣間見ることができます。そういう方たちに共通しているのは、現状に甘んじることなく、常に勉強する姿勢が身に付いていることではないでしょうか。新しいことをどんどん吸収していくので、生き生きとして見えます。皆さんも、今まさにそこへの切符を手にしようとしているのです。

一口に勉強といってもさまざまなやり方がありますが、大学の授業では、それぞれの分野の専門家から効率的に深く学ぶことができます。また、情報の分野は身近な最新のトピックスに富み、知的好奇心や向上心を満たすには持って来いの学問です。さらに、通信教育ならば、自分のペースで取り組んでいくことができます。

通信教育を行っている大学の中で、本学は唯一北海道に位置し、情報の分野と数学の教職課程の両方を学べる貴重な学び舎となっています。平成6年に開設されて以来、1万名を越える卒業生を送り出してきました。

入学のきっかけは、大卒の資格、教員免許の取得等の差し迫った目標だったかもしれません。しかし、実際にレポートの添削等から窺い知れたのは、単に資格のためだけではなく、学習したことを広く自分の仕事や趣味にまで生かそうとする姿勢でした。「大学での学び」を通じた自己実現に喜びを見出していることがわかります。

本学は全国に専門学校を核とした教育センターを持ち、インターネットによる授業やポータルサイト等、本学からは遠く離れた場所で学ぶ皆さんを支援する体制を整えています。皆さんがさらに輝かれるための第一歩を、ぜひ本学で踏み出してください。

そして、情報通信技術を基礎とした情報社会に必要な知識と技術を習得し、優れた技術者または賢いユーザーとして高度情報通信社会の担い手へと成長していったほしいと思います。



通信教育部長 高井 那美

1992年3月 東京大学大学院理学系研究科博士課程修了(理学博士)
1994年4月～ 北海道情報大学経営情報学部(講師・助教授・准教授・教授)
2016年4月 通信教育部長就任

北海道情報大学●沿革

- 1989年4月 ● 北海道情報大学 開学(経営情報学部 経営学科・情報学科)
- 1994年4月 ● 通信教育部 開設
(通信教育部 経営情報学部 経営学科・情報学科)
- 1996年4月 ● 大学院修士課程 開設(経営情報学研究科)
- 2001年4月 ● 新学部 開設(情報メディア学部 情報メディア学科)【通学課程】
- 2003年4月 ● 教職課程 高等学校教諭1種免許状(情報)開設
● 経営情報学部の学科名称変更
(経営ネットワーク学科・システム情報学科)
- 2003年10月 ● インターネットメディア授業 開始
- 2006年4月 ● 新学科 開設(医療情報学科)【通学課程】
- 2008年4月 ● 経営情報学部の名称変更(先端経営学科)【通学課程】
● 情報メディア学部 専攻新設
(メディアデザイン専攻・メディアテクノロジー専攻)【通学課程】
- 2009年4月 ● 教職課程 高等学校教諭1種免許状(商業)開設
- 2011年4月 ● 教職課程 高等学校教諭1種免許状(数学)開設
- 2013年4月 ● 新学部 開設(医療情報学部 医療情報学科)【通学課程】
- 2014年4月 ● 教職課程 中学校教諭1種免許状(数学)開設
- 2017年4月 ● 医療情報学部 医療情報学科 専攻新設
(メディカルヘルスケア専攻・臨床工学専攻)【通学課程】

通信教育部 経営情報学部 経営ネットワーク学科 入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために、高等学校等での学びや社会人としての活動で得た基礎学力、基礎知識、語学力、読解力、論理的思考力及び主体的に学ぶ意欲等を身に付け、本学の通信教育部経営情報学部に興味・関心を持った次のような学生を求めています。

- 通信教育部の教育目標に関心を持つ人
- ITと経営に興味があり、経営とITの専門家になりたい人
- 幅広い教養を身に付けたい人
- 持続的に学習に取り組む意欲を持つ人

大学入学までに身に付けて欲しいこと

年齢に関係なく学問的関心を持ち続け、何事にも挑戦し続ける姿勢

入学者受け入れの方針

通信教育部は、いつでも、どこでも、誰もが学べる教育を提供するため、学力試験による選抜は行わず、出願書類で入学資格の審査を行う、いわゆるオープン・アドミッションによる入学者受入れを4月・10月の年2回行います。

通信教育部 経営情報学部 システム情報学科 入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために、高等学校等での学びや社会人としての活動で得た基礎学力、基礎知識、語学力、読解力、論理的思考力及び主体的に学ぶ意欲等を身に付け、本学の通信教育部経営情報学部に興味・関心を持った次のような学生を求めています。

- 通信教育部の教育目標に関心を持つ人
- ITと経営に興味があり、経営とITの専門家になりたい人
- 幅広い教養を身に付けたい人
- 持続的に学習に取り組む意欲を持つ人

大学入学までに身に付けて欲しいこと

年齢に関係なく学問的関心を持ち続け、何事にも挑戦し続ける姿勢

入学者受け入れの方針

通信教育部は、いつでも、どこでも、誰もが学べる教育を提供するため、学力試験による選抜は行わず、出願書類で入学資格の審査を行う、いわゆるオープン・アドミッションによる入学者受入れを4月・10月の年2回行います。

産学研の連携により、次世代をリードする人材を育成

本学のバックボーンであるeDC(電子開発学園)グループには最新の情報技術を共有・活用する体制が整備されています。総合システム企業として活躍する「(株)SCC」や、日本の宇宙開発をリードする技術者集団「宇宙技術開発(株)」があり、また、高度な情報通信技術とマルチメディアシステムの研究を手掛ける「北海道情報技術研究所」があります。さらに、本学と全国10校の専門学校が加わって、産業界・教育機関・研究機関を複合した独自の産・学・研協同体制を形成。先端技術を追求する企業と研究機関が得た知識・技術を大学教育にダイレクトに反映させ、実践的でリアルな教育を可能にしています。



北海道情報大学における「産学研協同ネットワーク」

産 技術・信頼

IT技術の提供から宇宙開発まで産業界と直結したテクノロジーを日々創出しています。

株式会社SCC 宇宙技術開発株式会社(SED)



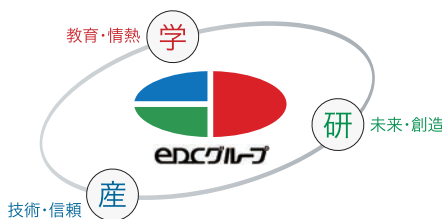
(C) JAXA

学 教育・情熱

最先端のITを主軸に社会のニーズに応え得る有為な人材を輩出しています。

北海道情報大学(HIU) 電子開発学園(EDC)

北海道情報専門学校	広島情報専門学校
新潟情報専門学校	KCS北九州情報専門学校
名古屋情報メディア専門学校	KCS福岡情報専門学校
名古屋医療情報専門学校	KCS大分情報専門学校
大阪情報専門学校	KCS鹿児島情報専門学校



研 未来・創造

先進の教育システムの開発など未来を拓く情報通信技術を研究しています。

北海道情報技術研究所(HiIT)



通信教育部 経営情報学部 システム情報学科 情報数理専攻 入学受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために、高等学校等での学びや社会人としての活動で得た基礎学力、基礎知識、語学力、読解力、論理的思考力及び主体的に学ぶ意欲等を身に付け、本学の通信教育部経営情報学部に興味・関心を持った次のような学生を求めています。

- 通信教育部の教育目標に関心を持つ人
- ITと経営に興味があり、経営とITの専門家になりたい人
- 幅広い教養を身に付けたい人
- 持続的に学習に取り組む意欲を持つ人
- 数学の知識を有した高度な情報システムエンジニアを目指す人
- 高度な情報技術を身に付けた数学科教員を目指す人

大学入学までに身に付けて欲しいこと

年齢に関係なく学問的関心を持ち続け、何事にも挑戦し続ける姿勢

入学受入れの方針

通信教育部は、いつでも、どこでも、誰もが学べる教育を提供するため、

学力試験による選抜は行わず、出願書類で入学資格の審査を行う、いわゆるオープン・アドミッションによる入学受入れを4月・10月の年2回行います。

学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

「情報化社会の新しい大学と学問の創造」の建学の理念を理解し、年齢に関係なく学問的関心を持ち続け、何事にも挑戦し続ける姿勢を持つことを前提とし、高度情報通信社会の担い手にふさわしい情報技術と知識、およびそれを支える幅広い教養と各種専門分野にまたがる知識を習得し、かつ、所定の単位を修得した学生に対して学位を授与します。

通信教育部 経営情報学部 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

北海道情報大学通信教育部は、「経営情報学」という新しい学問的視座のもとに、「経営」と「情報」の両分野にわたる複合的アプローチを展開しています。「経営ネットワーク学科」、「システム情報学科」及び「システム情報学科情報数理専攻」の2学科1専攻を有し、個人の目的や目標に合わせて、基礎から専門内容まで学べます。また、各学科・専攻の内容に合わせた教職課程を設置し、教員免許状の取得を可能としています。



学校法人 電子開発学園

北海道情報大学 通信教育部

HIU 通信

<http://tsushin.do-johodai.ac.jp/>

[通信教育部]

〒069-8585 北海道江別市西野幌59-2

TEL 011-385-4004

t_koho@do-johodai.ac.jp

[東京事務所]

〒164-0001 東京都中野区中野5-62-1 eDCビル

TEL 03-3319-4003

hiu-tokyo@edc.ac.jp
